

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
(1) 学生の確保の見通し	2
① 定員充足の見込み	
② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	
③ 学生納付金の設定の考え方	
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	14
① 学生確保に向けた広報方針	
② 具体的な取り組み	
2. 人材需要の動向等社会の要請	15
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	15
(2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであること の客観的な根拠	17
① 関連産業の人材需要動向	
② 地域的な人材需要動向	
③ 既設専門学校の就職状況	
④ 本学卒業生の採用根拠となるアンケート調査	

## 1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

### (1) 学生の確保の見通し

#### ① 定員充足の見込み

学校法人ミスパリ学園（以下「本学園」という。）は、ビューティ&ウェルネス専門職大学（以下「本学」という。）を開学し、ビューティ&ウェルネス学部ビューティ&ウェルネス学科（以下「本学科」という。）を設置する。入学定員を234人、3年次編入学定員を6人、収容定員を948人に設定した。

入学定員については、全国及び地域における18歳人口の動向、近隣地域における高校生の進学需要、本学が専門職人材を養成しようとするビューティ&ウェルネス産業に近い美容サービス産業分野における既設の高等教育機関の動向、本学園が運営している専門学校の状況、第三者機関により実施した高校生や専門学校生を対象としたアンケートの結果を踏まえたうえで総合的に判断した結果、確実に学生を確保可能と見込まれ、かつ入学者選抜の機能が低下しない範囲の入学定員として設定しており、定員充足には問題がないと判断した。

#### ② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

##### ア 18歳人口及び大学進学率の全国的・地域的推移

少子化が進む我が国では、全国で18歳人口の減少が見受けられる。令和2年（2020年）年の全国の18歳人口1,167,348人のうち、本学入学希望者の多数を占めると予想される南関東地区（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）の18歳人口は305,457人と全国の18歳人口の26.2%を占めている。12年後となる令和14年（2032年）の全国の18歳人口は1,023,963人と、令和2年（2020年）から143,385人減少することが見込まれ、南関東地区の18歳人口は288,670人と全国の18歳人口の28.2%を占めると予測されている。【資料1】このように、全国及び南関東地区において18歳人口の減少が予測されているものの、全国の18歳人口のうち南関東地区の18歳人口の占める割合は令和2年（2020年）から令和14年（2032年）で2.0ポイント増加することが見込まれている。

また、南関東地区の18歳人口は令和2年（2020年）の305,457人から令和14年（2032年）には288,670人に5.5%（16,787人）減少することが予測されているが、同じく大都市圏である東海地区では12.7%、近畿地区では15.1%の減少が見込まれていることと比較すると南関東地区は他地区に比して減少割合が小さく、10年先を見越しても神奈川県にキャンパスを設置する本学は18歳人口の減少による影響は僅かであるといえる。

次に、近年の南関東地区の高等学校卒業生の進学者数・進学率の状況【資料2】をみると、大学進学率については、平成23年（2011年）の全国平均47.7%から令和2年（2020年）には51.1%と3.4%上昇しており、南関東地区でも、平成23年（2011年）の56.0%から令和2年（2020年）には58.6%と2.4%上昇し

ている。

さらに、4年制大学の地域別の志願倍率【資料3】【資料4】をみると、南関東地区を含む三大都市圏（埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫）は、それ以外の地域と比較して倍以上の志願倍率となっている。

これらのことから、全国的に18歳人口は減少するものの南関東地区を含む三大都市圏においてその影響は僅かであり、相対的に大学進学率は上昇傾向にあることから、神奈川県にキャンパスを設置する本学は、中長期的に定員充足の見通しについて、問題はないものと考えている。

#### イ 競合する4年制大学の定員充足状況

本学の学問分野は、ビューティ&ウェルネス産業を教育研究の対象とした「保健衛生学」を中心とするが、同系統の4年制大学は存在しない。「保健衛生学」を中心とする学問分野としている4年制大学は数多くあるが、看護師、理学療法士、柔道整復師などの医療系国家資格を取得させ、医療従事者を養成することを主目的としており、ホスピタリティを兼ね備えた高度な専門知識と洗練された技術を有するセラピストの養成を目的とする本学とでは養成する人材像や取得資格、教育内容が異なるため競合しない。

ただし、後述する高校生対象のアンケート結果で、美容の技術と知識を修得することに対して高校生の関心が高いことから、本学の比較対象となる意味で競合する可能性がある4年制大学としては、美容産業、中でも美容サービスに関連する技術を修得できる教育課程を置く大学が該当すると考えている。具体的には、美容師の資格を取得できる山口県の東亜大学（芸術学部トータルビューティ学科）、美容師資格取得に加え、化粧品について学ぶことができる大阪府の大阪樟蔭女子大学（学芸学部化粧ファッション学科）、エステティシヤンの資格を取得できる千葉県の秀明大学（総合経営学部企業経営学科）が挙げられる。東亜大学は芸術、大阪樟蔭女子大学は家政学を学問分野としているという違いはあるが、美容サービスの知識と技術について学修するという点において本学と共通している。秀明大学は、経営学を学問分野としているが、4年制大学で唯一、エステティックの資格（AEA認定エステティシヤン）を取得できる教育課程を有しており、大学において経営の知識とともにエステティックの専門知識と技術を修得することができるという点において、展開科目において経営学に関する基礎知識を学修する本学の教育課程と類似する点があるといえる。

これらの大学の令和2年度（2020年度）及び令和3年度（2021年度）の定員充足状況及び入学志願状況（各大学のホームページから抜粋）は下記のとおりである。大阪樟蔭女子大学及び秀明大学は、収容定員を充足しており、入学志願状況も2倍前後と高い志願倍率を確保している。特筆すべきなのは、入試合格者が実際に入学する確率（歩留まり率）が非常に高いことである。これらの学部学科

は他に類をみない学部学科であることから、「受験＝第一志望」である学生が多いと考えられる。このように本学の学びに近い大学に対して関心をもつ学生は一定程度の数が見込まれ、特に第一志望の大学として志願者を集めることで、学生を確保することが可能であると推測される。

<競合する大学の学部学科の収容定員及び充足率>

○令和2年度(2020年度)

大学	学部学科	収容定員	在学者数	充足率
東亜大学	芸術学部 トータルビューティ学科	90人	90人	1.00
大阪樟蔭女子大学	学芸学部 化粧品ファッション学科	480人	510人	1.06
秀明大学	総合経営学部 企業経営学科	360人	389人	1.08

○令和3年度(2021年度)

大学	学部学科	収容定員	在学者数	充足率
東亜大学	芸術学部 トータルビューティ学科	100人	81人	0.81
大阪樟蔭女子大学	学芸学部 化粧品ファッション学科	480人	545人	1.13
秀明大学	総合経営学部 企業経営学科	360人	435人	1.20

<競合する大学の学部学科の入学定員及び充足率>

○令和2年度(2020年度)

大学	学部学科	定員	入学者数	充足率
東亜大学	芸術学部 トータルビューティ学科	30人	27人	0.90
大阪樟蔭女子大学	学芸学部 化粧品ファッション学科	120人	162人	1.35
秀明大学	総合経営学部 企業経営学科	90人	113人	1.26

○令和3年度(2021年度)

大学	学部学科	定員	入学者数	充足率
東亜大学	芸術学部 トータルビューティ学科	30人	16人	0.53

大阪樟蔭女子大学	学芸学部 化粧ファッション学科	120人	158人	1.31
秀明大学	総合経営学部 企業経営学科	90人	145人	1.61

<競合する大学の学部学科の入学志願状況>

○令和2年度(2020年度)

大学	学部学科	定員	志願者数	志願倍率
東亜大学	芸術学部 トータルビューティ学科	30人	非公表	非公表
大阪樟蔭女子大学	学芸学部 化粧ファッション学科	120人	250人	2.08倍
秀明大学	総合経営学部 企業経営学科	90人	240人	2.67倍

○令和3年度(2021年度)

大学	学部学科	定員	志願者数	志願倍率
東亜大学	芸術学部 トータルビューティ学科	30人	非公表	非公表
大阪樟蔭女子大学	学芸学部 化粧ファッション学科	120人	191人	1.59倍
秀明大学	総合経営学部 企業経営学科	90人	256人	2.84倍

<競合する大学の学部学科の入試合格者の入学状況>

○令和2年度(2020年度)

大学	学部学科	合格者数	入学者数	歩留まり率
東亜大学	芸術学部 トータルビューティ学科	非公表	27人	非公表
大阪樟蔭女子大学	学芸学部 化粧ファッション学科	154人※	162人	100%
秀明大学	総合経営学部 企業経営学科	116人	113人	97.4%

○令和3年度(2021年度)

大学	学部学科	合格者数	入学者数	歩留まり率
東亜大学	芸術学部 トータルビューティ学科	非公表	16人	非公表

大阪樟蔭女子大学	学芸学部 化粧ファッション学科	130人※	158人	100%
秀明大学	総合経営学部 企業経営学科	153人	145人	94.7%

※大阪樟蔭女子大学の入試合格者数に対して、入学者数が上回っているのは、他学科等不合格者が併願により入学したためと推測される。

#### ウ 競合する短期大学及び専門学校の定員充足状況

エステティシアンを養成することを目的とした短期大学や専門学校で養成される人材は、ビューティ&ウェルネス産業において技術者として即戦力となれるスキルを備えたセラピストであるのに対し、4年制の専門職大学である本学は、即効性のあるスキルだけではなく、科学的で高品質なビューティ&ウェルネスサービスを学び、現代社会における多様な「心身の美と健康」を実現することによって、「QOL向上」に資するための仕組みを社会に実装することができる人材であるとともに、「ビューティ&ウェルネス産業」の経営管理・マネジメントを担い、さらには、新しい価値を創造することができる将来の指導者として、先導的な役割を果たすことが期待される人材を養成するという違いがある。しかしながら、美容や健康に興味のある高校生の進路という点において、実質的に本学と競合すると考えられるのは、セラピスト、特にエステティシアンを養成することを目的とした短期大学及び近隣の専門学校であろうと推察される。

エステティックの資格(AJESTHE認定上級エステティシアン又はAEA上級認定エステティシアン)を取得できる教育課程を有している短期大学としては、東京都の山野美容芸術短期大学(美容総合学科)、京都府の池坊短期大学(環境文化学科)が挙げられる。そこで、これらの短期大学に加え、神奈川県に所在するエステティック資格を取得できる専門学校3校の定員充足率について、下記のとおり調査した。

昨今の短期大学離れを反映してか短期大学については定員を充足してはいないが、専門学校は3校中2校が定員を充足している。このことは、エステティック資格を取得し、即戦力の技術者としてのセラピストとなることを希望する者は、専門学校志望として一定程度存在しており、本学がそれら高校生の進路の選択肢の一つとなると考えている。

#### <競合する短期大学の学部学科の収容定員及び充足率>

○令和2年度(2020年度)

短期大学	学科	収容定員	在学者数	充足率
山野美容芸術短期大学	美容総合学科	490人	366人	0.73

池坊短期大学	環境文化学科	180 人	155 人	0.86
--------	--------	-------	-------	------

○令和 3 年度 (2021 年度)

短期大学	学科	収容定員	在学者数	充足率
山野美容芸術短期大学	美容総合学科	490 人	312 人	0.63
池坊短期大学	環境文化学科	180 人	145 人	0.80

<競合する大学の学部学科の入学定員及び充足率>

○令和 2 年度 (2020 年度)

短期大学	学科	定員	入学者数	充足率
山野美容芸術短期大学	美容総合学科	245 人	155 人	0.63
池坊短期大学	環境文化学科	90 人	89 人	0.98

○令和 3 年度 (2021 年度)

短期大学	学科	定員	入学者数	充足率
山野美容芸術短期大学	美容総合学科	245 人	165 人	0.67
池坊短期大学	環境文化学科	90 人	61 人	0.67

<競合する専門学校の収容定員及び充足率>

○令和 2 年度 (2021 年度)

専門学校	学科	定員	在学者数	充足率
横浜ビューティ&ブライダル専門学校	トータルビューティ科	240 人	248 人	1.03
横浜 f カレッジ	ビューティコーディネーター科	160 人	183 人	1.14
岩谷学園アーティスティック B 横浜美容専門学校	トータルビューティ科	120 人	74 人	0.62

## エ 本学園が運営する既設専門学校の学生募集状況

令和2年度（2020年度）学校基本調査・学科別入学状況によれば、ビューティ&ウェルネス産業を含む「衛生分野その他」に区分される全国の専修学校の入学定員計5,775人に対して3,332人が入学しており、入学定員充足率は57.6%である。

本学園は、東京都豊島区にてミス・パリ・ビューティ専門学校、埼玉県さいたま市にてミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校、愛知県名古屋市にてミス・パリエステティック専門学校 名古屋校の3校を運営している。これら本学園既設専門学校の課程のうち、ビューティ&ウェルネス産業のセラピストを養成するトータルビューティ学科の入学定員充足状況をみてみると、本学園既設学科の直近5年間の平均充足率は77.6%であり、昨年度の全国入学定員充足率と比較すると20.0ポイント高い。【資料5】

既設の専門学校において、収容定員は充足していないが、学校法人として経営を維持できる学生は確保している。今後は安定した経営の維持に努めながら、定員の充足に向けて学生の確保に取り組む。また、本学では3年次に編入学（定員6人）を受け入れるため、既設専門学校の卒業生は、本学に編入学して学士の学位を取得することも可能となる。これにより、ビューティ&ウェルネス産業に興味をもっている高校生の将来の進路選択に幅が広がり、既設専門学校への入学者確保と専門学校卒業者による編入学性確保につながる相乗効果が期待できる。

## オ 入学者の受入れの見込み

本学を開設するにあたっては、前述のように美容サービス産業分野における既存の高等教育機関の動向、全国及び地域における18歳人口の動向、近隣地域における高校生の進学需要、本学園が運営している専門学校の状況などを踏まえたうえで計画していることから、十分な学生確保が見込めるものであるが、本学の学生確保の見通しを客観的かつ定量的に把握することを目的として、主な学生募集エリアである南関東地区を中心に、高校2年生（開学年度に入学対象の学年）に対し、第三者機関によるアンケート調査を行った。【資料6】実施にあたっては、調査票と合わせて本学設置の趣旨、養成する人材像、主な授業科目等を記載したリーフレット【資料7】を配布した。調査概要は以下のとおりである。

## 【アンケート調査概要】

		調査Ⅰ	調査Ⅱ
調査対象		アンケートへの協力を承諾した高校の2年生	本学及びミスパリ学園の専門学校のオープンキャンパスに参加した高校2年生
調査方法		高校留め置き調査	オープンキャンパスでの配布・回収
調査エリア		茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県	ビューティ&ウェルネス専門職大学 設置予定場所（横浜市） ミス・パリ・ビューティ専門学校（東京校、大宮校） ミス・パリ エステティック専門学校（名古屋校）
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	23,358人（148校）	328人
	有効回収数※ (回収校数)	16,491人（123校） 有効回収率：70.6%	280人 有効回収率：85.4%
調査時期		令和3年（2021年） 4月21日（水）～8月3日（火）	令和3年（2021年） 3月20日（土）～8月3日（火）
調査実施機関		株式会社進研アド	

※調査Ⅰ、調査Ⅱの回答者の重複は除外している。

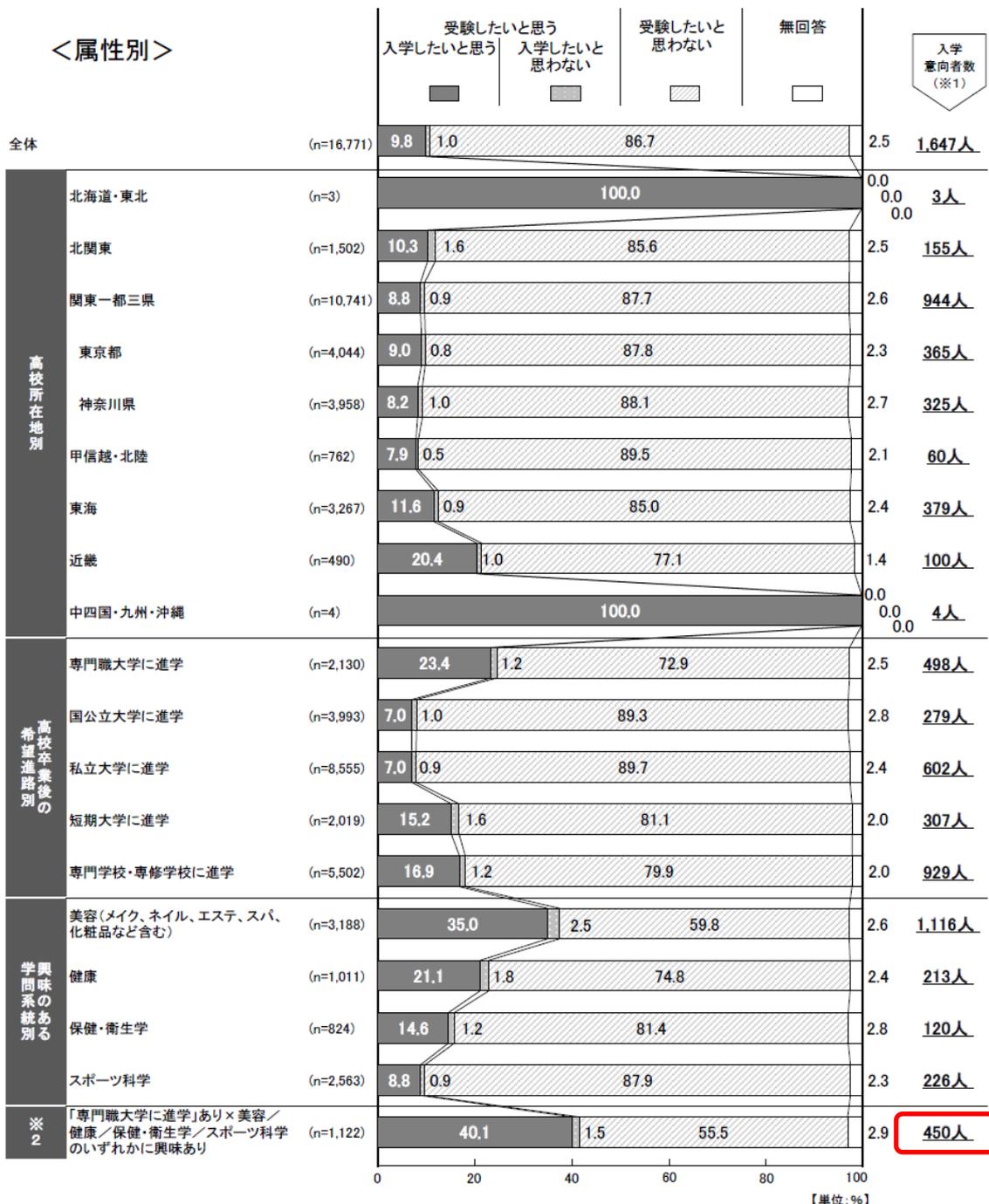
アンケートの結果、本学への受験意向・入学意向については、回答数16,771人のうち、Q4 受験意向について「受験したい」かつ、Q5 入学意向について「入学したい」と回答した人は1,647人（9.8%）であり、予定されている入学定員234人を大きく上回る入学意向者がみられた。特に、南関東地区を含む三大都市圏では一定数の入学意向者数があり、前述の4年制大学の地域別の志願倍率の傾向にも合致する。

また、Q1 高校卒業後の進路について、「専門職大学に進学」を考えると答えた人のうち、Q2 興味がある学びの分野について、本学において学ぶことができる「美容（メイク、ネイル、エステ、スパ、化粧品など含む）」「健康」「保健・衛生学」「スポーツ科学」のいずれかに回答した人は、1,122人（6.7%）であった。この1,122人のうち、Q4 受験意向について「受験したい」かつ、Q5 入学意向について「入学したい」と回答した人は、450人であった。これは、入学定員234人の約1.8倍であり、入学定員を上回る学生確保が可能であると考えられ、入学定員設定の妥当性についても客観的根拠となる。

# ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への受験意向別入学意向<属性別>

## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への受験意向別入学意向<属性別>

※1 ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人をビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の入学意向者と定義する。



※1 入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

※2 希望進路別×興味のある学問系統別

あわせて、「ビューティ&ウェルネス専門職大学 ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度をはかるため以下の 4 つの特色を示し、それぞれの関心の高さを質問した。

- A. 美と健康に関する高度な専門性ととともに、経営・マネジメントの分野までバランスよく学び、将来、国内外の美（ビューティ）と健康（ウェルネス）産業をリードできる人を育成します。
- B. エステやメイクアップ、ネイル、フィットネスをはじめ、広く、深く、美や健康について総合的なスキルと知識を身につけます。
- C. 確かな実践力を養う 600 時間以上の企業実習を実施します。エステティックサロン、ヘアサロン、フィットネスクラブなどの第一線で学び、技術とセンスを磨き上げます。
- D. 語学や経営といった実社会を意識した学びも展開。美と健康産業で活躍するプロはもちろん、経営やマネジメントの知識を発揮して、新たなサービスを生み出す開発職、講師、管理職などもめざすことができます。

アンケートの結果、上記すべての項目において 5 割以上の高校生が「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した。中でも、最も魅力度が高かったのは、「B. エステやメイクアップ、ネイル、フィットネスをはじめ、広く、深く、美や健康について総合的なスキルと知識を身につけます。」で 61.2%あり、美容サービスの技術と知識を修得し、資格を取得することについて高校生の関心が高いことが窺えることから、本学の開設は、従来専門学校や短期大学に進学していた高校生にとって進路選択の幅を広げるものと考えられる。これは、それらの高校生が 4 年制の専門職大学で学ぶ機会を提供することになることから、学士課程レベルの志願者の確保にもつながると考えている。

#### カ 編入学者の受入れの見込み

2016（平成 28）年 5 月に中央教育審議会にて発表された「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について（答申）」においても、社会人の学び直し環境に関する課題や対応が記載されており、本学ではセラピストとして活躍している社会人や、セラピストになるための学習をした専門学校・短期大学卒業生を対象とした編入学定員を設ける。

大学全入時代となった今日、ビューティ&ウェルネス産業のセラピストの中でも学士の学位取得の欲求は高まっている。そこで、対象者の需要調査のため、本学園既設専門学校生に対してアンケート調査を実施した。調査概要は下記のとおりである。実施にあたっては、調査票【資料 8】と合わせて本学設置の趣旨、養成する人材像、主な授業科目等を記載したリーフレット【資料 7】を配布した。

## 【アンケート調査概要】

	専門学校生対象調査
調査対象	学校法人ミスパリ学園が運営する専門学校の生徒 ミス・パリ・ビューティ専門学校 トータルビューティ学科（1・2年生） エステティックマスター学科 ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 トータルビューティ学科（1・2年生）
調査方法	校内にて、配布・回収
調査対象数	284人（有効回収率：100％）
調査時期	令和3年（2021年）7月16日（金）～7月22日（木）
調査実施機関	本学園専門職大学設置準備室

回答者 284 人のうち、「ビューティ&ウェルネス専門職大学 ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の 3 年次編入学について、「受験したいと思う」と答え、さらに「編入学したいと思う（2 年間学ぶ）」と回答した人は、28 人（9.9%）だった。

専門学校 1・2 年生を中心に対象としたアンケート調査の結果から、毎年、編入学対象学年の生徒のみでも 10 人以上は編入学を希望するものと予想され、3 年次編入学定員（6 人）を充足することは可能である。特に今回アンケート調査の対象としたミス・パリ・ビューティ専門学校及びミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校は、本学の通学圏内にあり、専門学校生に対して、卒業後の進路の一つとして、本学への編入学を提示していく。もちろん、編入学は既設の専門学校の卒業生のみを対象としたものではなく、社会人（セラピスト）や他の専門学校・短期大学に対して、本学の編入制度を広報・PR する。

### ③ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、大学の経営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を重視しつつ、大学の将来の発展を目的とする施設・設備の充実を考慮するとともに、完成年度に収支の均衡がはかれることを前提に教育研究費比率や経常経費依存率を見据え、本学の運営上における人件費及び教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務予測による実質的な採算分岐点にもとづき設定している。

そのうえで、競合する 4 年制大学、短期大学、専門学校及び南関東地区に所在する専門職大学と照らし合わせ（下表）、入学金 200,000 円、授業料 895,000 円、施設費 350,000 円、教育充実費 150,000 円の初年度納付金合計 1,595,000 円として設定した。先に述べた高校留め置き調査等で配布したリーフレットに記載した

本学と競合する 4 年制大学、短期大学や専門学校と比較すると若干高額ではあるが、南関東地区所在の専門職大学と比較すると低額である。リーフレットに学生納付金比較を掲載したうえで、実施した調査において、入学意向者が多数いたことから、学生納付金が学生募集上、適切であると判断している。

【他大学等の初年度学生納付金】

大学	学部学科	入学金	授業料	その他	合計
東亜大学	芸術学部トータルビューティ学科	240,000 円	620,000 円	300,000 円	1,160,000 円
大阪樟蔭女子大学	学芸学部化粧ファッション学科	280,000 円	890,000 円	280,000 円	1,450,000 円
秀明大学	総合経営学部企業経営学科	300,000 円	717,000 円	271,000 円	1,288,000 円
山野美容芸術短期大学	美容総合学科エステティック専攻	300,000 円	780,000 円	514,000 円	1,594,000 円
池坊短期大学	環境文化学科	240,000 円	808,000 円	280,000 円	1,328,000 円
横浜ビューティ&ブライダル専門学校	トータルビューティー科	100,000 円	700,000 円	220,000 円	1,020,000 円
横浜 f カレッジ	ビューティコーディネート科	100,000 円	467,000 円	445,000 円	1,012,000 円
岩谷学園アーティスティック B 横浜美容専門学校	トータルビューティー科	100,000 円	600,000 円	300,000 円	1,000,000 円
国際ファッション専門職大学	国際ファッション学部	300,000 円	900,000 円	350,000 円	1,550,000 円
東京保健医療専門職大学	リハビリテーション学部	300,000 円	900,000 円	700,000 円	1,900,000 円
情報経営イノベーション専門職大学	情報経営イノベーション楽部	200,000 円	1,080,000 円	320,000 円	1,600,000 円
東京国際工科専門職大学	工科学部情報工学科	300,000 円	980,000 円	460,000 円	1,740,000 円
	工科学部デジタルエンタテインメント学科	300,000 円	1,010,000 円	470,000 円	1,780,000 円

## (2) 学生確保に向けた具体的な取り組み状況

### ① 学生確保に向けた広報方針

本学では、入試広報部（本学開学までは、専門職大学設置準備室）が中心となり、教職員一体となり、広報・PRを行う。

既設の専門学校において、「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を教育理念とし、即戦力としてのセラピストを目指す高校生・社会人を獲得してきた学生募集の実績は、本学へ入学したいと思う層の獲得に通ずるものである。そのため、本学園の既設専門学校の学生募集担当部署との連携を密に行うことで、相乗効果により学生確保をはかる。

### ② 具体的な取り組み

#### ア 情報提供

大学案内、ホームページ、進学媒体紙及び進学情報サイトを中心に、授業内容、取得資格、入学試験、学費及び就職情報等について明示し、受験対象者及び高等学校に周知していく。南関東圏だけでなく、全国から学生を積極的に募集するため、WEBを活用した広報活動を積極的に展開する。ホームページだけでなく、InstagramやTwitterといったSNSを利用し、ユーザーと双方向での情報共有も行う。本学の設置認可前においては本学の特徴や学長（予定者）メッセージを掲載し、随時イベント情報を掲載する。

本学の設置認可後は、大学サイトをリニューアルし、就任予定教員や、予定されるゼミなども掲載し、学生が進路を決定するにあたり、より具体的な情報を掲載していく。また、外部業者の大学情報ポータルサイトも活用し、情報発信を行う予定である。その他、大学パンフレットの作成や、高校生向け進学雑誌広告など幅広い広報活動を行うこととしている。

#### イ オープンキャンパス

志願を検討している受験生に対して、職業体験及び授業体験のできる機会を提供し、本学の学びに興味をもってもらうとともに、参加者の質問に個別で答えるなど、個々人に対して詳細な説明を行っていく。なお、各種イベントに関してはアンケートを実施し、よりニーズを反映した運営を行っていく予定である。また、保護者対象の説明会も随時開催する。

実施計画：令和3年（2021年）11月から開学までに30回（毎月2回）実施。

#### ウ 高等学校訪問

南関東地区を含む首都圏を中心として、高等学校に本学園職員が訪問し、進路指導担当教員に対して情報提供や情報収集を行う。新設の専門職大学である本学は、当然認知度は低い。主な受験対象者である高校生に認知してもらうためには、

まずは高等学校の進路指導担当教員に本学の開学について知ってもらう必要がある。本学の設置認可前は、PR用のリーフレットを用いて、高等学校や学年などの特性に応じて工夫しながら説明を行い、本学への関心を喚起していく。

実施計画：令和3年（2021年）11月から開学までに、南関東地区の高等学校を中心に延べ1,050校（毎月70校）訪問。

#### エ 進学相談会等への出展

外部業者が主催する進学相談会や高等学校内ガイダンスにも随時参加し、本学の特色についての説明を行い、進学相談に応じる。

実施計画：令和3年（2021年）11月から開学までに、45回出展。

#### オ 個別見学、個別相談の対応

オープンキャンパスに参加することができない高校生等を対象として、随時、個別見学、オンライン個別相談に応じる。

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### （1）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

人々の価値観が多様化した現代社会では、それぞれの人々が価値を置く美しさとは何か、QOLとは何かを適切に理解した上で、「ビューティ&ウェルネスサービス」を利用するクライアントが満足するサービスを提供することが求められている。個人それぞれが求める「心身の美と健康」の実現を支援し、健康寿命を延伸させるための健康で幸せな生活に対するコンサルティングを担う人材の養成が急務である。

本学で養成する人材像は、科学的で高品質なビューティ&ウェルネスサービスを学び、現代社会における多様な「心身の美と健康」を実現することによって、「QOL向上」に資するための仕組みを社会に実装することができる人材であるとともに、「ビューティ&ウェルネス産業」の経営管理・マネジメントを担い、さらには、新しい価値を創造することができる将来の指導者として、先導的な役割を果たすことが期待される人材である。

養成する人材に求められる具体的な資質の一つは、セラピストとして、マニュアル的なルーティーンに陥ることなく、高価値な創造性を有しながら確実に安全性が担保された施術を行うことである。そのために医学的なメカニズムを理解することが必須であり、内科学、心身医学全般の知識のエッセンスを理解しなくてはならない。セラピストは施術の効果の科学的な基盤となるこれらの知識を系統的に理解することが要請される。さらに、実証的な側面からこれらの医学的な効果を客観的に評価する態度、能力を養成することが期待され、そのために科学的測定及び評価法、統計的手法、データサイエンスの技法を教育する。一方、人の

肌に触れ、施術を施すことは様々なリスクを生じ健康被害をもたらす可能性がある。また、不適切なアプローチによる様々な皮膚障害、末梢神経障害、脊髄障害が日常的に生じており、独立行政法人国民生活センターには年間約600件の健康被害が報告されている。本学の基盤的な心身医学プログラムは、アレルギーのメカニズム、化学薬品の作用機序、皮膚科学及び整形外科学的なリスク管理の学習から、また、臨地実務実習においてリスク管理の実際を学ぶ機会から、リスクを感知する能力を涵養する。このように、系統的な医学教育、科学的な知識と態度の養成、データ分析、データサイエンスの手法の修得は、一つは施術の質を向上させ付加価値を高める価値の創造の観点から、そしてもう一つはリスクを確実に回避し安全を担保するリスク管理の観点から、必須の教育課程であるが、これまで専門学校の教育では行われてこなかったものである。

養成する人材に求められる具体的な資質の一つはこのように、理論に裏打ちされた高度な実践力と論理的思考力をあわせ持つセラピストであることだが、本学ではセラピストとしてのアイデンティティーを前提としながら、独立経営者、起業するもの、企画・開発者及び管理職、分野横断的なコンサルタントとして活躍する人材の養成を極めて重視しており、そのような資質を持つ人材が本学の養成するセラピストに求める二つ目の資質となる。すなわち、ビューティ&ウェルネス産業に関するビジネスモデルを理解し、健全な事業運営を行うための知見を有することが必須となり、そうでなければ将来にわたってビューティ&ウェルネス産業の発展を支えることはできない。このため、ビューティ&ウェルネス産業における経営管理能力、マネジメント能力を身につけさせることを目的に、「展開科目」の「経営の基礎」において関連科目を配置し、理論に裏打ちされた高度な実践力と経営者・管理職としてのマネジメントやコンサルティングの資質を備え、ビューティ&ウェルネス産業界における中核的な存在となる専門職人材を養成する。

「ビューティ&ウェルネス産業」における技術者として即戦力となるセラピストについては、引き続き、本学園が運営する専門学校で養成していくが、価値観が多様化している現代社会においては、これまでの人材養成では不十分であり、「ビューティ&ウェルネス」の視座で人々のQOL向上に資する高度な人材の養成が要請されている。本学では、世界を先導する高い技術に裏付けられたセラピストの養成にとどまらず、「ビューティ&ウェルネス産業」を発展させるためのマネジメント能力の養成や、さらには、変化する社会の要請に応えて新たなサービスを開発し展開し、「ビューティ&ウェルネス産業」を牽引できる人材を養成する。本学を卒業する学生の多くは、「ビューティ&ウェルネスサービス施設」において高度な知識とスキルを持つセラピストとして就業することが想定される。さらに、経営・マネジメントの素養を身につけていることから、早期にビューティ&ウェルネスサービス施設におけるマネジャー職となることが可能であり、将

来的には企業の本部における管理職として活躍することも可能になる。あるいは、独立して経営者となり、「ビューティ&ウェルネス産業」における企画や開発に従事し、人々の健康と幸せに貢献できる中核的な人材となることが期待される。

## (2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的根拠

### ① 関連産業の人材需要動向

「経済センサス-活動調査」(総務省統計局)によると、「生活関連サービス業、娯楽業」のうち、ビューティ&ウェルネス産業であるエステティック業やリラクゼーション業を含む「その他の洗濯・理容・美容・浴場業」の事業所数は、平成24年(2012年)調査の20,904件から平成28年(2016年)調査の24,367件に16.6%増え、従業者数も97,051人から102,468人に5.6%増加している。

事業所数の増加率に対して、従業者数の増加率が少ないことから、人手不足が慢性化しており、労働力の供給が求められていることが分かる。例えばエステティック業は、バブル経済崩壊後も、女性の社会進出とともに、女性の美容に対する意識が高くなったためか景気に左右されず右肩上がりの成長を続けてきたが、2000年代になると飽和状態となり、「2020年版エステティックサロン市場動向調査」(株式会社矢野経済研究所)によれば、令和2年度(2020年度)のエステティックサロンの市場規模は事業者売上高ベースで3,602億円と予測されているもののここ数年は横ばいで推移しているが、市場規模が停滞している要因として、業界が慢性的な人手不足であるにも関わらず、人材問題の改善の可能性が低いことが報告されている。

これらの動向から、本学が人材を供給しようとしているビューティ&ウェルネス産業においては、後述する企業対象アンケートにおいても、回答企業の23.3%が本年度の採用予定数を「増やす」、35.6%が「昨年度並み」と回答しているように、今後も就職先として想定される関連企業における人材需要は引き続き高まることが予測される。

### ② 地域的な人材需要動向

下記④本学卒業生の採用根拠となるアンケート調査の企業対象調査において、本学卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業は72社で、採用想定人数は351人(1社平均4.9人)であり、これを南関東地区に絞ってみてみると、採用意向企業は55社で、採用想定人数は294人(1社平均5.3人)であったことから、地域的な人材需要が一定以上あることが分かる。

また、株式会社東京商工リサーチの調査によれば、ビューティ&ウェルネス産業の主要産業であるエステティック業の令和元年(2019年)倒産件数は73件(前年51件)に達し、最多記録を更新した。エステティック業界は、経験と資金力に

乏しい若い経営者が起業するケースも多く、零細規模で個人経営の倒産（23→35件）が倒産件数を押し上げる要因の一つになっている。

地区別では、大阪（14件）や兵庫（7件）を含めた近畿が28件（前年比33.3%増、構成比38.3%）で最も多く、以下、首都圏の東京（13件）や神奈川（5件）の関東18件（前年比80.0%増、構成比24.6%）、愛知（9件）を含む中部が13件（前年比44.4%増、構成比17.8%）と続く。大都市圏を抱える関東や中部、近畿の3地区で、8割（構成比80.8%）を占めた。都心部では、新たな出店も多く、同業との競合は熾烈になっている。

神奈川県横浜市という都市圏に設置する本学が養成しようとしているビューティ&ウェルネス産業の経営管理・マネジメントを担うことができる人材は、まさしく地域的な人材需要の動向を踏まえているものである。

### ③ 既設専門学校の就職状況

本学園は、創立以来国内外の美容サービス業界において即戦力人材の養成を行ってきた。既設専門学校の前身であるエステティックスクールから30年以上に亘る長い歴史に支えられた全国的なネットワークを有しており、美容・健康関連企業、美容クリニック、化粧品業界などを中心に求人が多数確保（本学園令和2年度（2020年度）卒業生向け求人社数実績1,051社）されている。希望者就職率は100%を毎年維持しており、今回設置する専門職大学と既設専門学校では目的、養成する人材、教育内容などで違いがあるものの、美容サービス業界において卒業生の就職先は十分確保できる見通しである。

### ④ 本学卒業生の採用根拠となるアンケート調査

本学の開設は、前述のとおり社会的な人材需要の動向等及び既設専門学校の求人状況や就職状況などを踏まえたうえで計画していることから、十分な卒業後の進路が見込めるものであるが、本学で養成する人材の社会的なニーズを確認し、卒業後の具体的な進路の見通しがあるかを定量的なデータから検証することを目的として、卒業生の就職先として想定される全国の企業や団体に対して、第三者機関によるアンケート調査を行った【資料9】。実施にあたっては、調査票と合わせて本学設置の趣旨、養成する人材像、主な授業科目等を記載したリーフレット【資料7】を配布した。調査概要は以下のとおりである。

【アンケート調査概要】

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		北海道、青森県、宮城県、山形県、福島県、茨城県 栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 新潟県、石川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県 三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、広島県、山口県 香川県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	738 社
	回収数	90 社 (有効回収率：12.2%)
調査時期		令和3年(2021年)4月22日(月)～7月7日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

本学を卒業後、就職先として想定されるビューティ&ウェルネス産業であるエステティック業に加え、化粧品製造・販売業、美容・健康用品製造・販売業、スポーツジム・フィットネス業、観光業等の738社にアンケートを実施した結果、90社から回答が得られた。

アンケートの結果、卒業生の採用意向に関して、「採用したいと思う」と回答した企業は、回答のあった90社中72社(80.0%)であった。採用意向を示した72社へ、毎年の採用想定人数を質問したところ、採用想定人数合計は、351人となった。このアンケート結果では、738社に限った調査であるにもかかわらず、回答があった90社の毎年の採用想定人数のみで、入学定員を上回っていることから、本学卒業後に想定される主な就職業界における本学出身者の人材需要は高いといえ、卒業後の進路については十分な見込みがあるものとする。

■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11.Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをお選びください。(あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	%	1名	2名	3名	4名	5名	10名	20名	30名	40名	50名以上	計(※)
			名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	
全体	72	30.6%	5.6%	27.8%	2.8%	20.8%	1.4%	2.8%	1.4%	0.0%	1.4%		⇒ 68 351
	企業数	22	4	20	2	15	1	2	1	0	1		
	名	22	8	60	8	105	14.5	49	34.5	0	50		

※毎年の採用想定人数・計 各項目の代入値を各範囲の平均にて算出。

「5名～9名」=7名、「10名～19名」=14.5名、「20名～29名」=24.5名、「30名～39名」=34.5名、「40名～49名」=44.5名、「50名以上」=50名 とそれぞれ代入し合計値を算出

また、本学の特色について、以下の 4 つを示し、それぞれどの程度魅力に感じるか質問した。

- A. 美と健康に関する高度な専門性ととも、経営・マネジメントの分野までバランスよく学び、将来、国内外の美（ビューティ）と健康（ウェルネス）産業をリードできる人を育成します。
- B. エステやメイクアップ、ネイル、フィットネスをはじめ、広く、深く、美や健康について総合的なスキルと知識を身につけます。
- C. 確かな実践力を養う 600 時間以上の企業実習を実施します。エステティックサロン、ヘアサロン、フィットネスクラブなどの第一線で学び、技術とセンスを磨き上げます。
- D. 語学や経営といった実社会を意識した学びも展開。美と健康産業で活躍するプロはもちろん、経営やマネジメントの知識を発揮して、新たなサービスを生み出す開発職、講師、管理職などもめざすことができます。

アンケートの結果、すべての質問において 8 割以上の企業が「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した。企業が求める人材に求める能力が、本学が養成する人材像と相違していないことを示している。

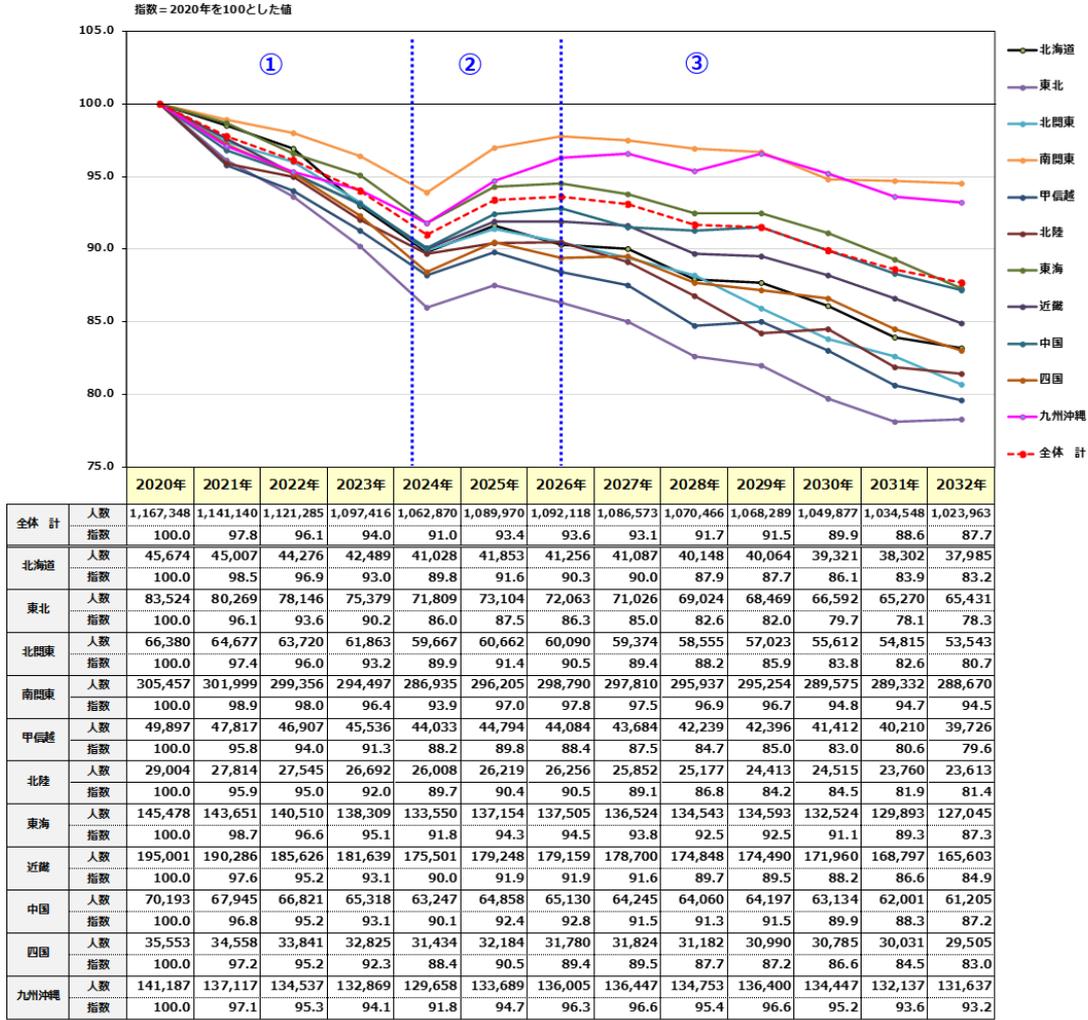
さらに、本学の社会的必要性について質問したところ、90 社中 83 社（92.2%）が「必要だと思う」と回答しており、本学が考える教育内容、人材養成に対する企業からの期待値の高さが窺える。このことから、本学の特色ある教育が卒業生の採用につながるものと考えている。

## 資 料 目 次

- 【資料1】 18歳人口予測
- 【資料2】 大学進学率の推移
- 【資料3】 私立大学 志願倍率・入学定員充足率（地域別）
- 【資料4】 私立大学 志願倍率・入学定員充足率（三大都市圏・その他の地域）
- 【資料5】 学校法人ミスパリ学園・既設専門学校トータルビューティ学科  
入学定員充足状況
- 【資料6】 ビューティ&ウェルネス専門職大学  
ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科（仮称）  
設置に関するニーズ調査 結果報告書（高校生対象調査）
- 【資料7】 ビューティ&ウェルネス専門職大学 リーフレット
- 【資料8】 ビューティ&ウェルネス専門職大学  
ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科（仮称）  
設置に関するニーズ調査 調査票（既設専門学校生対象調査）
- 【資料9】 ビューティ&ウェルネス専門職大学  
ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科（仮称）  
設置に関するニーズ調査 結果報告書（企業対象調査）

【資料1】

18歳人口予測（全体：エリア別：2020～2032年）



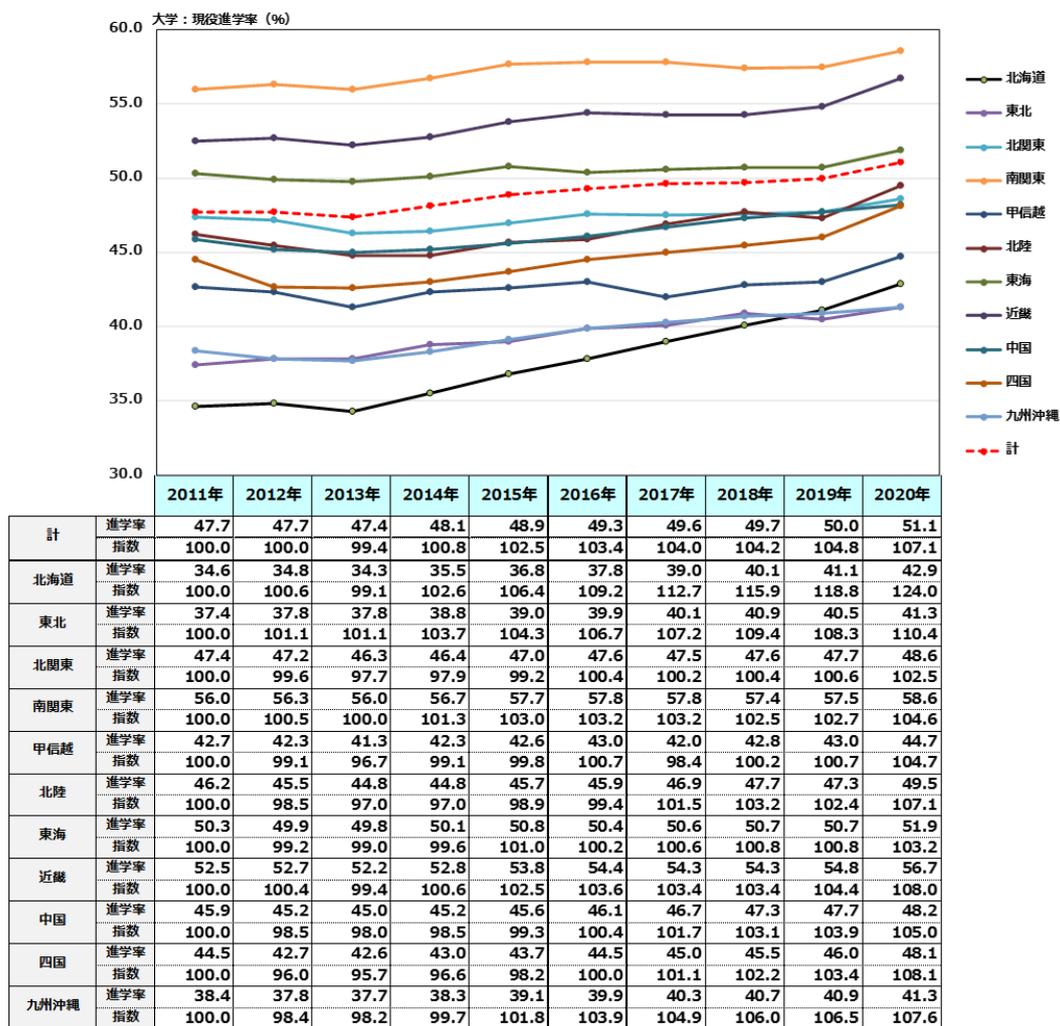
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

※学校基本調査を基にリクルート進学総研にて作成

出典：リクルート進学総研「18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2020」

【資料2】

大学進学率の推移（現役：エリア別：2011～2020年）

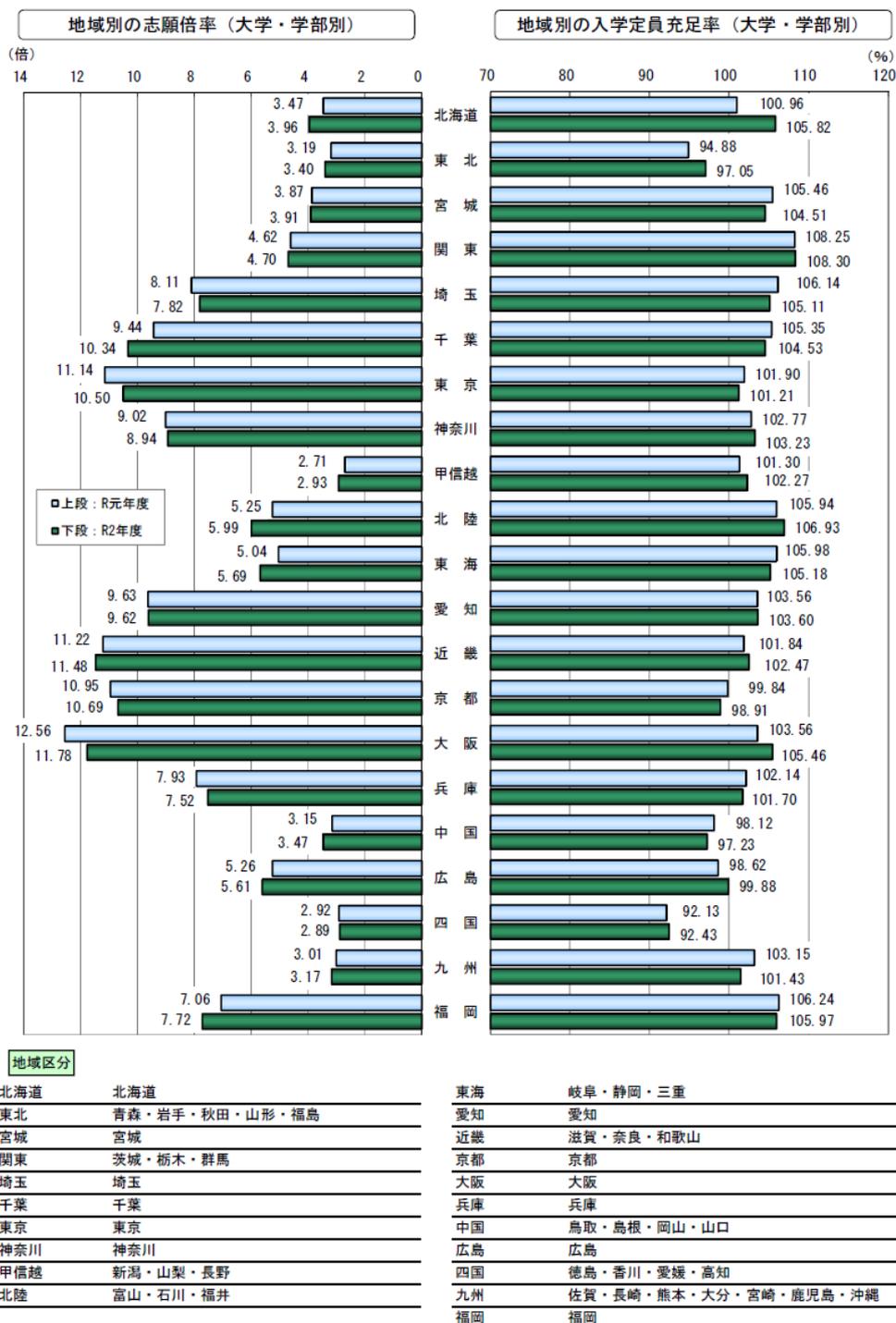


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

※学校基本調査を基にリクルート進学総研にて作成

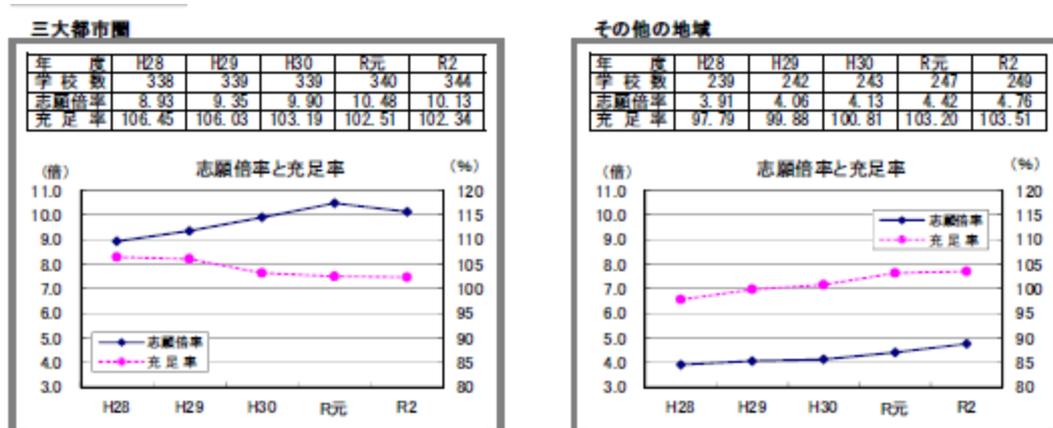
出典：リクルート進学総研「18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2020」

【資料3】



出典：日本私立学校振興・共済事業団「令和2(2020)年度 私立大学・短期大学等入学志願状況」

【資料4】



※三大都市圏は、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫とする。  
 ※東北(宮城を除く)、千葉、東京、京都、大阪、三大都市圏、その他の地域の志願倍率目盛は他の地域と異なる。

出典：日本私立学校振興・共済事業団「令和2(2020)年度 私立大学・短期大学等入学志願状況」

【資料5】

学校法人ミスパリ学園・既設専門学校の入学定員充足状況(2017～2021年度)

	入学定員	2017(平成29)年度		2018(平成30)年度		2019(令和元)年度		2020(令和2)年度		2021(令和3)年度	
		入学者数	充足率	入学者数	充足率	入学者数	充足率	入学者数	充足率	入学者数	充足率
ミス・パリ・ビューティ専門学校(東京校) トータルビューティ学科	120	107	89.1%	102	85.0%	88	73.3%	93	77.5%	118	98.3%
ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校 トータルビューティ学科	80	33	41.2%	27	33.7%	43	53.7%	43	53.7%	69	86.2%
ミス・パリエステティック専門学校 名古屋校 トータルビューティ学科	91	86	94.5%	72	79.1%	90	98.9%	80	87.9%	79	86.8%
合計	291	226	77.6%	201	69.0%	221	75.9%	216	74.2%	266	91.4%

---

---

ビューティ&ウェルネス専門職大学  
「ビューティ&ウェルネス学部  
ビューティ&ウェルネス学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【高校生対象調査】

---

---

令和3年9月  
株式会社 進研アド  
—学生確保(資料)—6—

# 高校生対象 調査概要

## 1. 調査目的

2023年4月開設予定のビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		調査Ⅰ	調査Ⅱ
調査対象		アンケートへの協力を承諾した高校の高校2年生	ビューティ&ウェルネス専門職大学およびミスパリ学園の専門学校オープンキャンパスに参加した高校2年生
調査方法		高校留め置き調査	オープンキャンパスでの配布・回収
調査エリア		茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県	ビューティ&ウェルネス専門職大学設置予定場所(横浜市)ミス・パリ・ビューティ専門学校(東京校、大宮校)ミス・パリ エステティック専門学校(名古屋校、大阪校)
調査対象数	依頼数(依頼校数)	23,358人(148校)	328人
	有効回収数(回収校数)	16,491人(123校) 有効回収率:70.6%	280人 有効回収率:85.4%
備考 (重複回答の排除方法)		調査Ⅱのアンケート内に重複回答を防ぐための設問を設定し、「以前にビューティ&ウェルネス専門職大学に関するアンケートに回答した」と答えた重複の回答者(95名)を無効票とした。さらにアンケート上での申告漏れを考慮し、調査Ⅰの対象高校と調査Ⅱの回答者の所属高校について突き合わせを行い、重複回答者(32名)を無効票とした。以上、2つの工程から厳格に重複回答を排除した上で、有効回収数に計上している。	
調査時期		2021年4月21日(水) ～8月3日(火)	2021年3月20日(土) ～8月3日(火) ※2021年3月に配布・回収を行ったアンケートについては、2021年4月に高校2年生となる高校生を対象に調査を行っている
調査実施機関		株式会社 進研アド	

# 高校生対象 調査概要

---

## 3. 調査項目

### 高校生対象調査

- ・性別
- ・高校種別
- ・調査方法別
- ・高校所在地
- ・高校卒業後の希望進路
- ・興味のある学問分野
- ・ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部  
ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度
- ・ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部  
ビューティ&ウェルネス学科」への受験意向
- ・ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部  
ビューティ&ウェルネス学科」への入学意向

## 高校生対象 調査結果まとめ



# 高校生対象 調査結果まとめ

## 回答者の属性

※本調査は、ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」に対する進学需要を確認するための調査として設計。ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の主な学生募集エリアと想定される関東地区の高校を中心に高校2年生に調査を実施。また、ビューティ&ウェルネス専門職大学およびミスパリアル学園の専門学校のオープンキャンパスに参加した高校2年生にも調査を実施した。

- 本調査の回答者は16,771人。そのうち、高校留め置き調査の回答者は16,491人、オープンキャンパス来校者調査の回答者は280人である。
- 回答者の性別は「男性」が44.2%、「女性」が54.6%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が37.1%、「私立」が62.9%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、「東京都」が24.1%を占め、最も多い。次に「神奈川県」が23.6%、「千葉県」が14.9%と続く。

## 高校卒業後の希望進路や興味のある学問分野

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」の割合が51.0%で最も高い。次いで「専門学校・専修学校に進学」が32.8%、「国公立大学に進学」が23.8%と続く。また、「専門職大学に進学」は12.7%である。
- 回答者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、「美容(メイク、ネイル、エステ、スパ、化粧品など含む)」が19.0%で最も高い。次いで「経済・経営・商業」が16.9%、「医療・看護・歯科・薬学」が16.4%と続く。「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の学びと関連する「美容(メイク、ネイル、エステ、スパ、化粧品など含む)」、「健康」、「保健・衛生学」、「スポーツ科学」のいずれかに「興味あり」と回答した人は35.6%である。

# 高校生対象 調査結果まとめ

## ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度(※)は、いずれの項目においても6割前後である。
- 最も魅力度が高いのは、「B. エステやメイクアップ、ネイル、フィットネスをはじめ、広く、深く、美や健康について総合的なスキルと知識を身につけます。」(61.2%)である。

次に魅力度が高いのは、「A. 美と健康に関する高度な専門性とともに、経営・マネジメントの分野までバランスよく学び、将来、国内外の美(ビューティ)と健康(ウェルネス)産業をリードできる人を育成します。」「D. 語学や経営といった実社会を意識した学びも展開。美と健康産業で活躍するプロはもちろん、経営やマネジメントの知識を発揮して、新たなサービスを生み出す開発職、講師、管理職などもめざすことができます。」(ともに60.2%)、さらに「C. 確かな実践力をやしなう600時間以上の企業実習を実施します。エステティックサロン、ヘアサロン、フィットネスクラブなどの第一線で学び、技術とセンスを磨き上げます。」(58.7%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

## ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への受験意向／入学意向

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、10.8% (1,812人)である。
- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」を「受験したいと思う」と答えた1,812人のうち、ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、90.9% (1,647人)である。

# 高校生対象 調査結果まとめ

## ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への入学意向者数

※ここからは、ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向は9.8% (1,647人) で、予定されている入学定員240人を大きく上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

### ◇高校卒業後の希望進路別

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への興味・関心が高いと思われる「専門職大学に進学」を考えている回答者の入学意向は23.4% (2,130人中、498人) と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

### ◇興味のある学問系統別

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の学びと関連する「美容(メイク、ネイル、エステ、スパ、化粧品など含む)」に興味がある回答者の入学意向は35.0% (3,188人中、1,116人) と、予定している入学定員数を4倍以上上回る入学意向者がみられた。同じく、ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の学びと関連する「健康」に興味がある回答者の入学意向は21.1% (1,011人中、213人)、「保健・衛生学」に興味がある回答者の入学意向は14.6% (824人中、120人)、「スポーツ科学」に興味がある回答者の入学意向は8.8% (2,563人中、226人) と、一定の入学意向がみられた。

# 高校生対象 調査結果まとめ

---

◇希望進路別×興味のある学問系統別

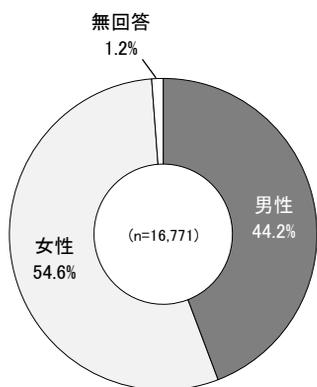
- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」を受験・入学する可能性が高い、「専門職大学に進学」する意向があり、「美容」「健康」「保健・衛生学」「スポーツ科学」のいずれかに興味がある回答者の入学意向は40.1% (1,122人中、**450人**)と、予定している入学定員数の約1.8倍を上回る入学意向者がみられた。

## 高校生対象 調査結果

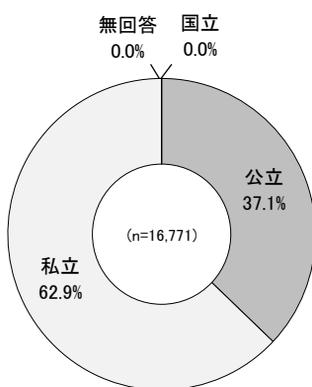


# 回答者の属性(性別／高校種別／調査方法別／高校所在地)

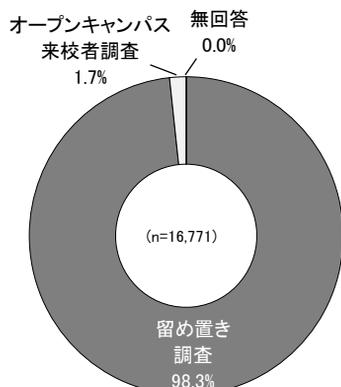
## ■性別



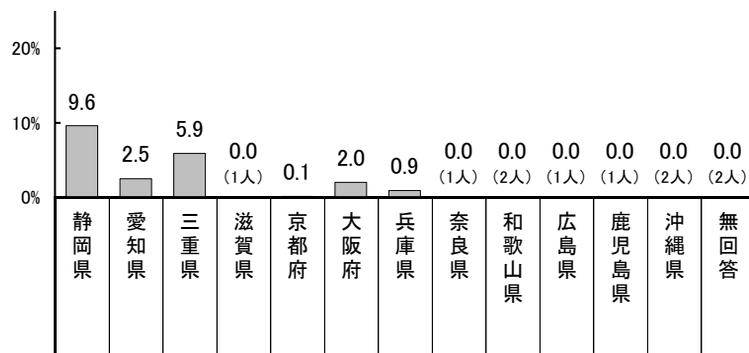
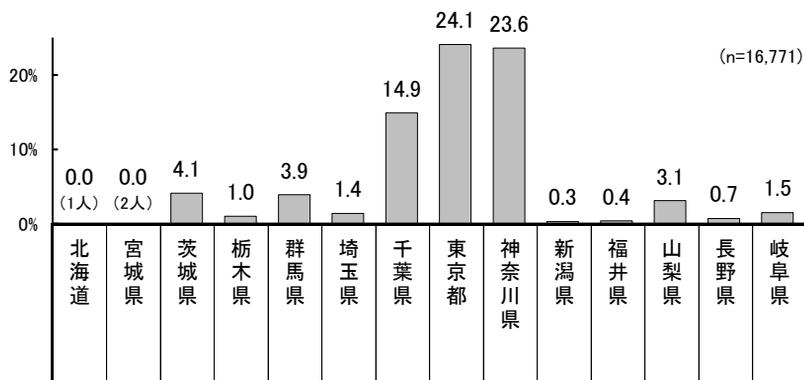
## ■高校種別



## ■調査方法別



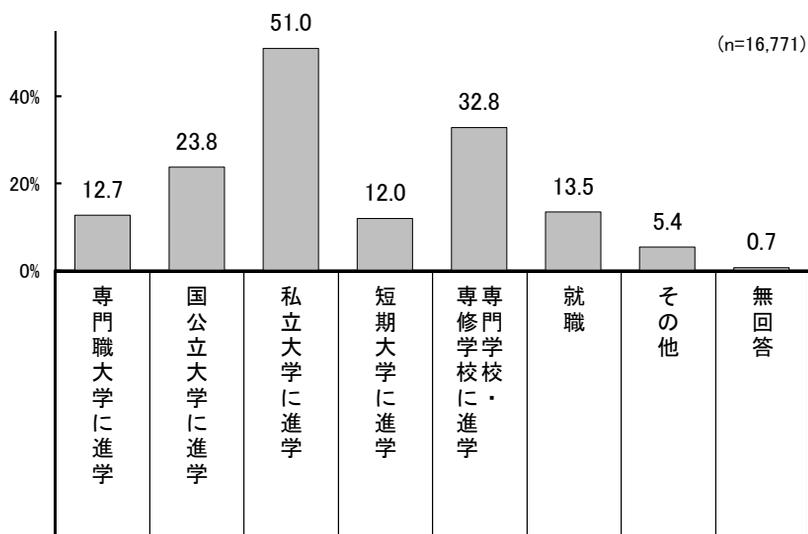
## ■高校所在地



# 高校卒業後の希望進路

## ■高校卒業後の希望進路

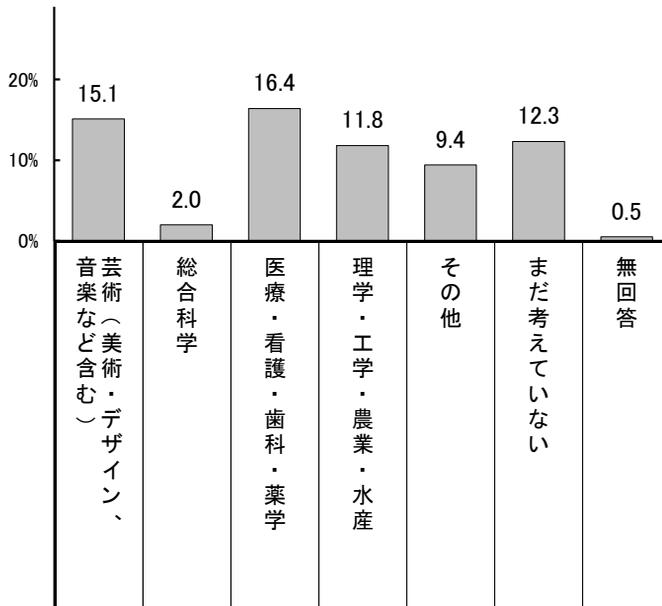
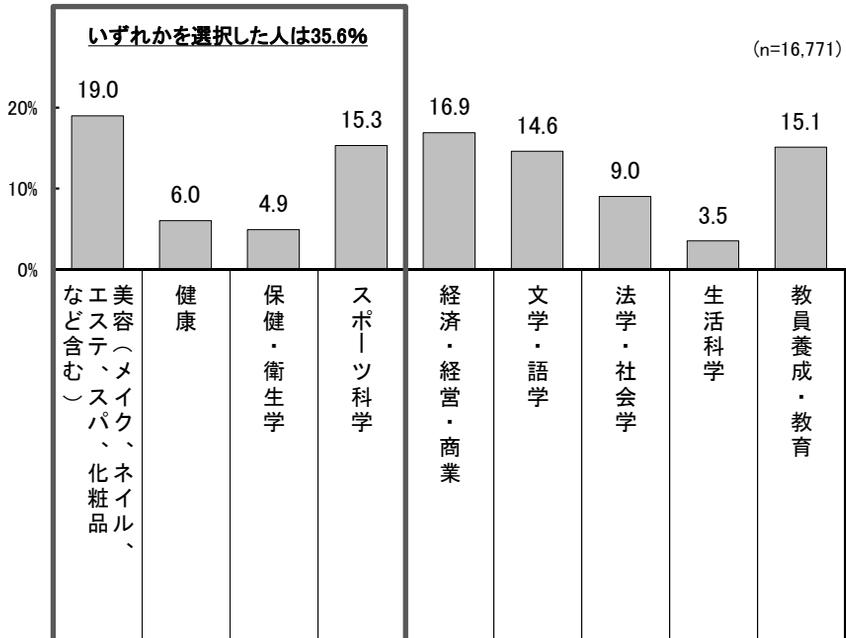
Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



# 興味のある学問分野

## ■興味のある学問分野

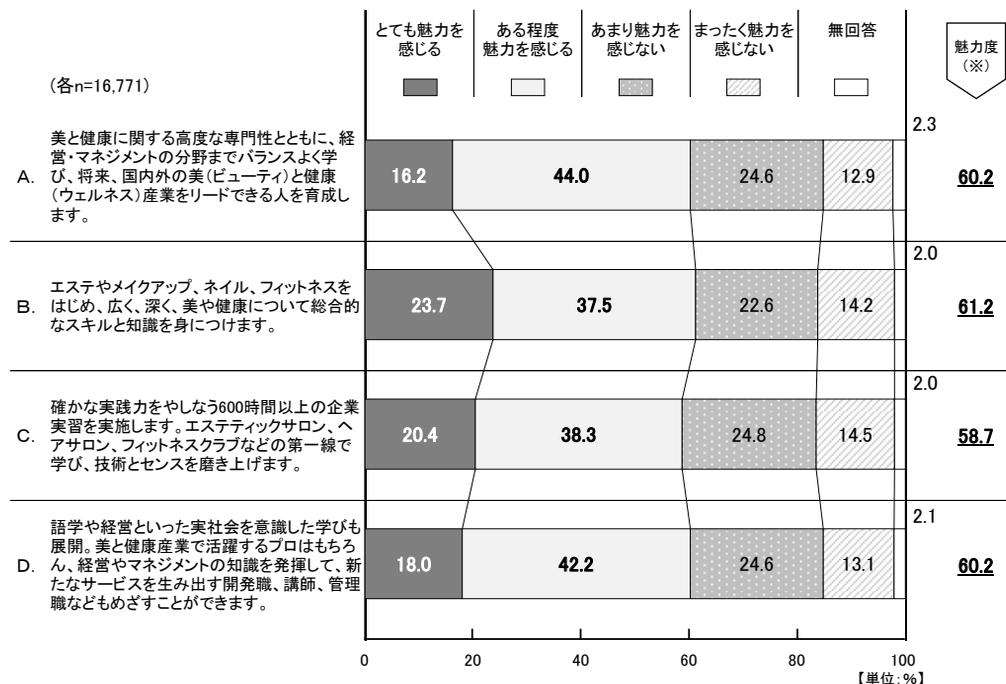
Q2. あなたは、どのような学びの分野に興味がありますか。以下の項目から、興味のある分野の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも) (現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



# ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度

## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度

Q3. 「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」(すべて仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



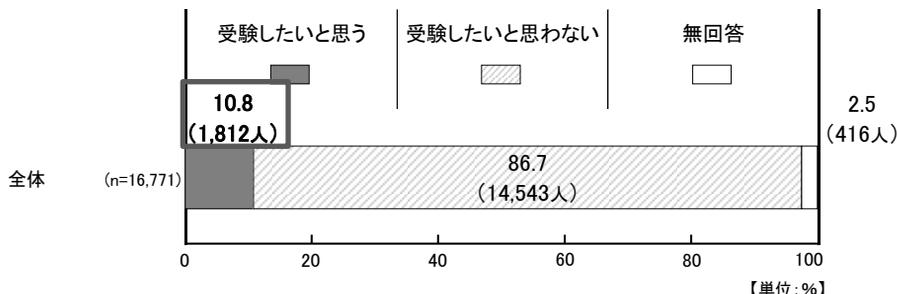
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに％を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への受験意向／入学意向／受験意向別入学意向

## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への受験意向

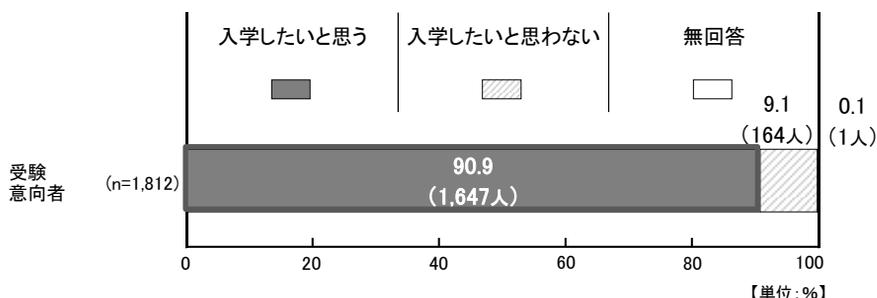
Q4. あなたは、「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」(すべて仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた1,812人のみ抽出

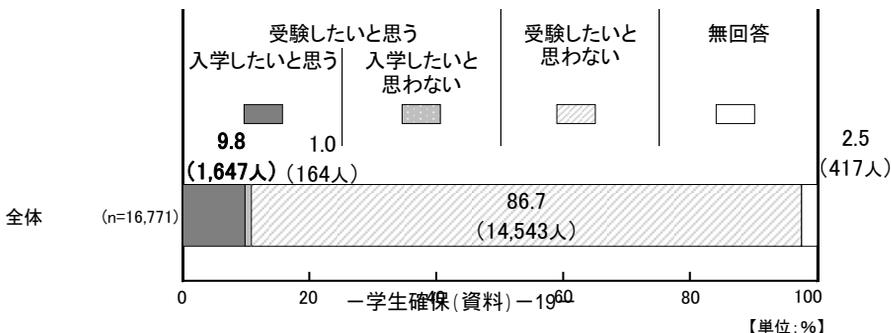
## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への入学意向

Q5. あなたは、「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」(すべて仮称、設置構想中)に合格したら、入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を  
かけあわせて集計(母数は全回答者)

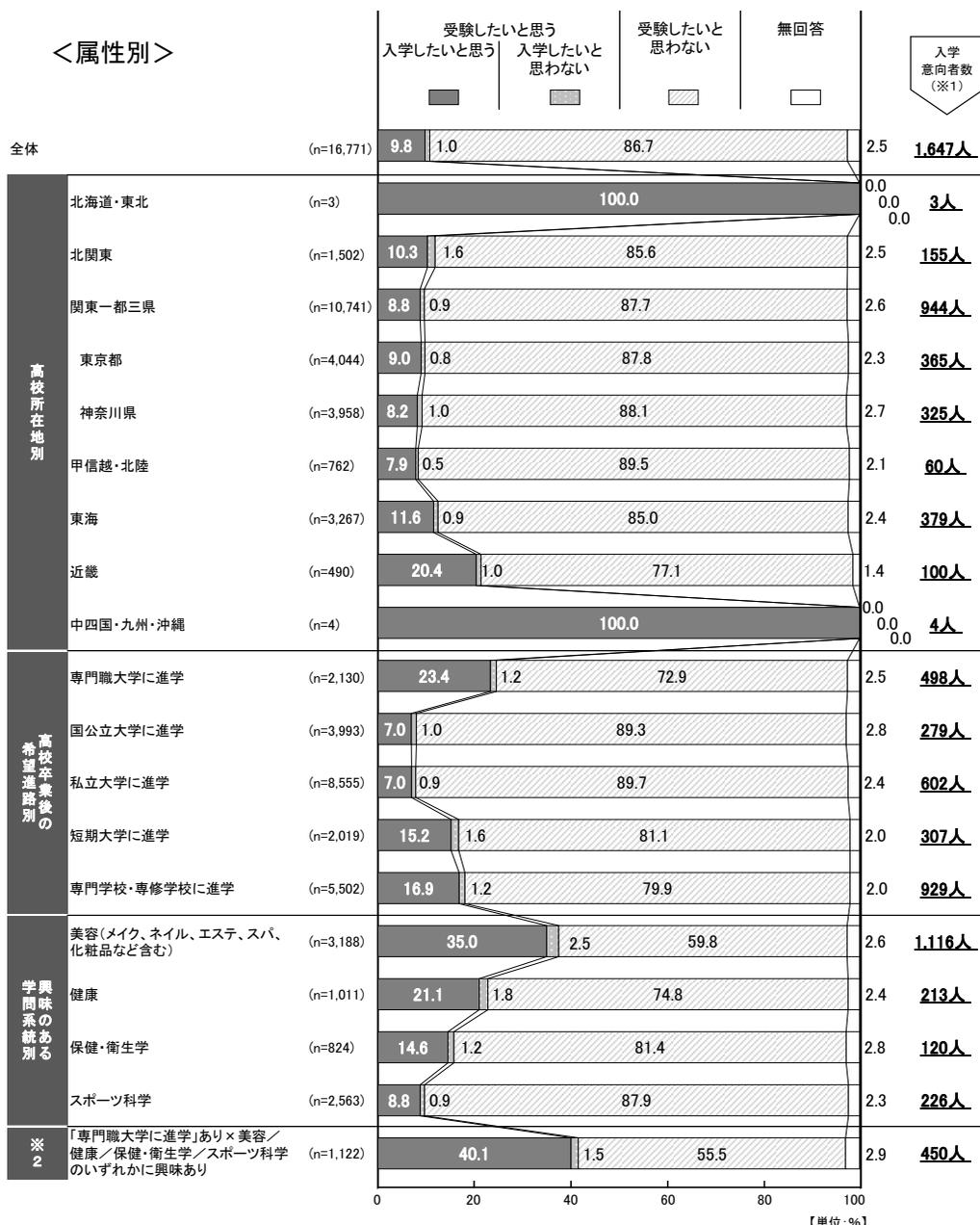
## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への受験意向別入学意向



# ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への受験意向別入学意向<属性別>

## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」への受験意向別入学意向<属性別>

※1 ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人をビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部ビューティ&ウェルネス学科」の入学意向者と定義する。



※1 入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

※2 希望進路別×興味のある学問系統別

## 卷末資料 調查票











美と健康を学べる、  
日本初の専門職大学が生まれます。



Professional University of Beauty & Wellness  
ビューティ&ウェルネス専門職大学  
(仮称)

ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科(仮称)  
2023年4月開学予定(設置構想中)

※設置計画は予定であり、変更となる可能性があります

# 人びとの人生に豊かさや幸福をもたらす 美と健康のプロフェッショナルになる

社会からの関心が高まっている美（ビューティ）と健康（ウェルネス）産業において、新たなサービスを開拓できる次世代のリーダーを育成します。

## Feature 本学の特長

大学の教養カリキュラム（語学、社会学、経済学、心理学、美術等）に加え、  
職業専門科目（皮膚科学、運動学、生理学、栄養学、化粧品学等）の理論と共に、  
美と健康（エステティック、メイク、ネイル、フィットネス等）のスキルを身に付け、  
在学中に多くの資格取得をめざします。

## Disciplines 学びの領域

美（ビューティ）と健康（ウェルネス）産業は、常に進化し続けています。未来の美と健康のビジネスを創出していくために、現場で必要とされる様々な能力を4年間で身に付けます。



## Point 学びのポイント

美と健康に関する高度な専門性とともに、経営・マネジメントの分野までバランスよく学び将来、国内外の美（ビューティ）と健康（ウェルネス）産業をリードできる人を育成します。

### POINT 1

美と健康を学ぶ  
日本初の専門職大学

エステやメイクアップ、ネイル、フィットネスをはじめ、広く、深く、美や健康について総合的なスキルと知識を身に付けます。



### POINT 2

ビジネススキルを同時に修得して  
キャリアアップの近道に

早期のキャリアアップを見据え、語学や経営といった実社会を意識した学びも展開。高度な専門性とビジネスマインドを兼ね備えた人をめざします。



### POINT 3

確かな実践力を養う  
600時間以上の企業実習

エステティックサロン、ヘアサロン、化粧品会社、フィットネスクラブなど、現場で実習を実施します。第一線で学び、技術とセンスを磨き上げます。





## Curriculum 主なカリキュラム

医師、教授、研究者と共に実践経験豊富な教員による技術指導や実習が充実。  
大学教育ならではの美と健康についての科学や理論を学ぶ授業やキャリア形成に役立つ授業も  
並行して学ぶカリキュラム。だから、美と健康に関する総合力が身に付きます。

### 4年間の学びを 総まとめ 総合科目

個々の学生の興味に応じる演習(ゼミナール)形式で修得してきた知識と技能の体系化をはかります。

【科目例】  
総合理論演習/総合実践演習 など



### 経営や マネジメントを学ぶ 展開科目

専門職業人としての能力を生かして職域を広げることを視野に入れながら、ビジネス実践力を高めます。

【科目例】  
経営学概論/マーケティング論/スパツーリズム論/  
起業論/経営戦略論 など



### プロとしてのスキルを磨く 職業専門科目

現代社会が求める美容・健康を理解し、それらを実践していくための知識と技能を修得します。

【科目例】  
皮膚科学/運動学/美容瘦身実習/基礎メイクアップ/  
ボディケア/フェイシャル/ネイル/フィットネス など



### 美とキャリアへの意識を高める 基礎科目

4年間の学びの導入です。美や人間について理解しながら、社会人としての教養や基礎力を身に付けます。

【科目例】  
キャリアデザイン/心理学/伝統文化演習/国際関係論 など



## Career 卒業後にめざせる進路

将来の活躍のフィールドは多岐にわたります。  
美と健康について幅広く学び、  
様々な進路に対応できることも  
ビューティ&ウェルネス専門職大学の特色です。

主な  
就職先

- ・エステティックサロン ・スパ ・化粧品会社
- ・ネイルサロン ・スポーツジム ・美容室
- ・フィットネスクラブ
- ・その他、美容、健康、リラクゼーション業界全般

美(ビューティ)と健康(ウェルネス)産業で  
活躍するプロはもちろん、  
身に付けた経営やマネジメントの知識を発揮して、  
新たなサービスを生み出す開発職、コンサルタント、  
管理職、起業などもめざすことができます。



コンサルタント



企画開発



サロン経営

## Facilities 学びの場

学びを充実させる最新機器、本物の美にこだわったキャンパス。  
技術と感性を磨くキャンパスで4年間学びます。



## Licentiate 卒業時にめざせる学位と資格

【学位】ビューティ&ウェルネス学士(専門職)〈英語名：Bachelor of Beauty & Wellness〉

資格	資格名	認定機関
エステティックに関する資格	ビューティセラピスト	特定非営利活動法人 日本エステティック機構
	スパ・セラピスト	特定非営利活動法人日本スパ・ウェルネス協会
	ジュニアビューティシャン	IPSN (国際職業人標準機構)
健康に関する資格	健康運動実践指導者	公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
	ダイエットアドバイザー	
マナーに関する資格	サービスマナー検定	特定非営利活動法人日本スパ・ウェルネス協会
メイクに関する資格	ビューティアドバイザー	
ネイルに関する資格	ネイリスト技能検定	特定非営利活動法人日本ネイリスト協会

## Outline 設置計画概要

修業年限 ▶ 4年間  
開設時期 ▶ 2023年4月  
入学定員 ▶ 240名  
開設場所 ▶ 神奈川県横浜市  
都筑区牛久保3-9-3  
学位 ▶ 学士(専門職)

### 類似の学問を学べる大学

- 東亜大学 芸術学部 トータルビューティ学科(山口県)  
学費 (1年次) 1,160,000円 (2年次以降) 920,000円
- 大阪樟蔭女子大学 学芸学部 化粧ファッション学科(大阪府)  
学費 (1年次) 1,450,000円 (2年次以降) 1,170,000円

## Academic fee 学費

	入学金	授業料(年額)	施設費(年額)	教育充実費(年額)	合計(年額)
1年次	200,000円	895,000円	350,000円	150,000円	1,595,000円
2年次以降		895,000円	350,000円	150,000円	1,395,000円

※別途、諸経費

【奨学金】①日本学生支援機構奨学金(貸与型、給付型)

- ②高等教育の就学支援新制度(授業料・入学金の減額または免除と給付型奨学金)
- ③学校法人ミスパリ学園奨学金(給付型/授業料1年分免除/授業料半年分免除/入学金免除のいずれか)
- ④その他、地方自治体独自の奨学金等(給付型、貸与型)

※①・②については認可取得後に適用いたします。 ※奨学生の対象となる基準については、各団体のHPをご確認ください。

※大学・学部・学科名等、記載内容は変更になる場合があります。



Professional University of Beauty & Wellness  
ビューティ&ウェルネス専門職大学  
(仮称)

【横浜キャンパス】住所：神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-3(開設予定地)  
アクセス：東急電鉄田園都市線「鷺沼駅」より徒歩17分  
「たまプラーザ駅」よりバス「研究所前」下車徒歩5分  
横浜市営地下鉄ブルーライン「中川駅」より徒歩14分

【お問い合わせ先】学校法人ミスパリ学園 ビューティ&ウェルネス専門職大学 設置準備室  
〒224-0012 神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-3  
TEL: 0120-732-151 / Fax: 045-530-9120  
E-mail: info@miss-paris.ac.jp

--

## 『ビューティ&ウェルネス専門職大学』(仮称、設置構想中) に関するアンケート

学校法人ミスパリ学園では、2023年4月に「ビューティ&ウェルネス専門職大学（仮称、以下「本学」という）の開学を予定しており、現在、設置構想中です。

そこで、現在、専門学校に在籍されている皆様にアンケート調査を実施させていただき、本学の内容をより充実したものにするための参考とさせていただきたいと考えております。なお、この調査は無記名で行い、皆様の個人情報をお守りすることをお約束します。

是非皆様の率直なご意見をお聞かせいただきますようアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートやリーフレットに記載されている内容は、現在設置構想中であり、今後変更される可能性があります。

Q1. はじめに、あなた自身についてお答えください。

※回答から個人を特定することは一切ありません。

在籍校 (1つに○)	1. ミス・パリ・ビューティ専門学校 (東京校)	2. ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校
学科・学年 (1つに○)	1. トータルビューティ学科 1年生	2. トータルビューティ学科 2年生
	3. エステティックマスター学科	

Q2. あなたは、さらなる資格取得や専門知識・スキルの向上、キャリアアップなどを目指して、卒業後（しばらく社会に出た後など）に再び大学や専門学校に入学し、学びを深めることに興味がありますか。

(当てはまる番号1つに○)

1. 関心がある                      2. 関心はない

※上記質問で「1. 関心がある」を選択した方は裏面のアンケートにお答えください。

「2. 関心はない」を選択された方への質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

次のページに続く→

※ここからは、リーフレットを見てからお答えください※

Q3. 「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部」「ビューティ&ウェルネス学科」(全て仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力を感じ	ある程度 魅力を感じる	あまり 魅力を感じない	全く 魅力を感じない
例	○○を学びます。	→ ①	②	③	④
A	美容に関する高度な専門性ととともに、経営・マネジメントの分野までバランスよく学び、将来、国内外の美(ビューティ)と健康(ウェルネス)産業をリードできる人を育成します。	→ ①	②	③	④
B	エステやメイクアップ、ネイル、フィットネスをはじめ、広く、深く、美や健康について総合的なスキルと知識を身に付けます。	→ ①	②	③	④
C	確かな実践力をやしなう600時間以上の企業実習を実施します。エステティックサロン、ヘアサロン、フィットネスクラブなどの第一線で学び、技術とセンスを磨き上げます。	→ ①	②	③	④
D	語学や経営といった実社会を意識した学びも展開。美と健康産業で活躍するプロはもちろん、経営やマネジメントの知識を発揮して、新たなサービスを生み出す開発職、管理職、講師などもめざすことができます。	→ ①	②	③	④

「ビューティ&ウェルネス専門職大学」では、特定非営利活動法人日本エステティック機構(JE0)認証上級資格(※)を取得または2025年3月までに取得見込であり、以下のいずれかにあてはまる方を主な対象として、**2025年4月からの3年次編入学制度を用意する予定です。**

※特定非営利活動法人日本スパ・ウェルネス協会認定ビューティセラピスト/一般社団法人日本エステティック業協会(AEA)上級認定エステティシャン/一般社団法人日本エステティック協会(AJESTHE)認定上級エステティシャン

<3年次編入学試験 受験資格(予定)>

1. 大学を卒業した方、または2025年3月までに卒業見込みの方
2. 短期大学または高等専門学校を卒業した方、または2025年3月までに卒業見込みの方
3. 専修学校の専門課程を修了した方(専門学校卒業生)または2025年3月までに修了見込みの方
4. 大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した方、または2025年3月までに所定の単位を修得見込みの方

※3年次編入学については、学力検査、実技試験、面接、出身学校における成績を総合して選考を行う予定です。

※上記を踏まえて、以下のQ4、Q5にご回答ください。

Q4. あなたは、「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部」「ビューティ&ウェルネス学科」(全て仮称、設置構想中)の3年次編入学試験を受験したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

1. 3年次編入学試験を受験したいと思う
2. 3年次編入学試験を受験したいと思わない

Q5. あなたは、「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部」「ビューティ&ウェルネス学科」(全て仮称、設置構想中)の3年次編入学試験を受験して合格したら、3年次編入学をしたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

1. 3年次から編入学したいと思う(2年間学ぶ)
2. 3年次から編入学したいと思わない。

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

---

---

ビューティ&ウェルネス専門職大学  
「ビューティ&ウェルネス学部  
ビューティ&ウェルネス学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【企業対象調査】

---

---

令和3年8月  
株式会社 進研アド  
-学生確保(資料)-32-

# 企業対象 調査概要

## 1. 調査目的

2023年4月開設予定のビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」新設構想に関して、企業のニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア (発送エリア)		北海道、青森県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	738社
	回収数(回収率)	90社(12.2%)
調査時期		2021年4月22日(木)～2021年7月7日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・人事採用への関与度</li><li>・本社所在地</li><li>・業種</li><li>・従業員数</li><li>・正規社員の平均採用人数</li><li>・本年度の採用予定数</li><li>・採用したい学問分野</li><li>・ビューティ&amp;ウェルネス専門職大学「ビューティ&amp;ウェルネス学部 ビューティ&amp;ウェルネス学科」の特色に対する魅力度</li><li>・ビューティ&amp;ウェルネス専門職大学「ビューティ&amp;ウェルネス学部 ビューティ&amp;ウェルネス学科」の社会的必要性</li><li>・ビューティ&amp;ウェルネス専門職大学「ビューティ&amp;ウェルネス学部 ビューティ&amp;ウェルネス学科」卒業生に対する採用意向</li><li>・ビューティ&amp;ウェルネス専門職大学「ビューティ&amp;ウェルネス学部 ビューティ&amp;ウェルネス学科」卒業生の毎年学業採用(徳大)大数</li></ul>

## 企業対象 調査結果まとめ



# 企業対象 調査結果まとめ

## 回答企業(回答者)の属性

※本調査は、ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、90企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は48.9%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が35.6%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、「東京都」が54.4%を占め、最も多い。次いで「埼玉県」が10.0%、「神奈川県」が7.8%である。
- 回答企業の業種としては「美容・健康用品製造・販売業」が22.2%で最も多い。次いで「その他サービス業」が21.1%、「エステティック業」が16.7%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が36.7%で最も多い。次いで「50名未満」が25.6%、「50名～100名未満」が17.8%である。

## 回答企業の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が22.2%で最も多い。次いで「10名～20名未満」が18.9%、「100名以上」が15.6%である。毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が35.6%で最も多い。次いで「増やす」「未定」が同率で23.3%である。回答企業の半数以上で昨年と同等かそれ以上の採用が予定されている様子である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聴取したところ、「ビューティー&ウェルネス学部 ビューティー&ウェルネス学科」の主な就職先として考えられる「美容(メイク、ネイル、エステ、スパ、化粧品など含む)」の割合が83.3%で最も高い。次いで「健康」が27.8%、「学生確保(資料) 35経済・経営・商業」が16.7%と高い。

# 企業対象 調査結果まとめ

## ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で8割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「A. 美と健康に関する高度な専門性とともに、経営・マネジメントの分野までバランスよく学び、将来、国内外の美(ビューティ)と健康(ウェルネス)産業をリードできる人を育成します。」(94.4%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も61.1%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「D. 語学や経営といった実社会を意識した学びも展開。美と健康産業で活躍するプロはもちろん、経営やマネジメントの知識を発揮して、新たなサービスを生み出す開発職、講師、管理職などもめざすことができます。」(91.1%)、さらに「B. エステやメイクアップ、ネイル、フィットネスをはじめ、広く、深く、美や健康について総合的なスキルと知識を身につけます。」(86.7%)、「C. 確かな実践力をやしなう600時間以上の企業実習を実施します。エステティックサロン、ヘアサロン、フィットネスクラブなどの第一線で学び、技術とセンスを磨き上げます。」(84.4%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

# 企業対象 調査結果まとめ

## ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の社会的必要性

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の社会的必要性についての評価は、92.2% (90企業中、**83企業**) が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

## ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」卒業生に対する採用意向・ 毎年の採用想定人数

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、80.0% (90企業中、**72企業**)である。
- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた72企業へビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**351名**で、予定している卒業生数240名を上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

< 属性別 >

◇ 本社所在地別

- 「東日本」エリアに所在地のある企業からの採用意向は、79.3% (82企業中、**65企業**)。採用想定人数の合計は**322人**で、予定している卒業生数を上回っている。また、「東日本」エリアのなかでも「一都三県」に所在地のある企業に限定すると、採用意向は、77.5% (71企業中、**55企業**)。採用想定人数の合計は**294人**である。「西日本」エリアに所在地のある企業からの採用意向は、87.5% (8企業中、**7企業**)。採用想定人数の合計は**29人**である。

# 企業対象 調査結果まとめ

---

## ◇業種別

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」卒業生の主な就職先として考えられる「エステティック業、化粧品製造・販売業、美容・健康用品製造・販売業、スポーツジム・フィットネス業、旅館・ホテル・宿泊業」の企業からの採用意向は76.9% (52企業中、**40企業**)。採用想定人数の合計は**222人**で、予定している卒業生数に近い採用意向がみられる。また、その他の業種からも一定の採用意向がみられる。

## ◇従業員数別

- 企業の規模にかかわらず、7割を超える採用意向がみられる。

## ◇「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する 魅力度別

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも8割を超えており、新学部・学科の特色に魅力を感じた企業からの採用意向が高いことがうかがえる。

## ◇社会的必要性別

- ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」が社会的に「必要だと思う」と答えた企業からの採用意向は、85.5% (83企業中、**71企業**)。採用想定人数の合計は**348人**で、予定している卒業生数を上回っている。

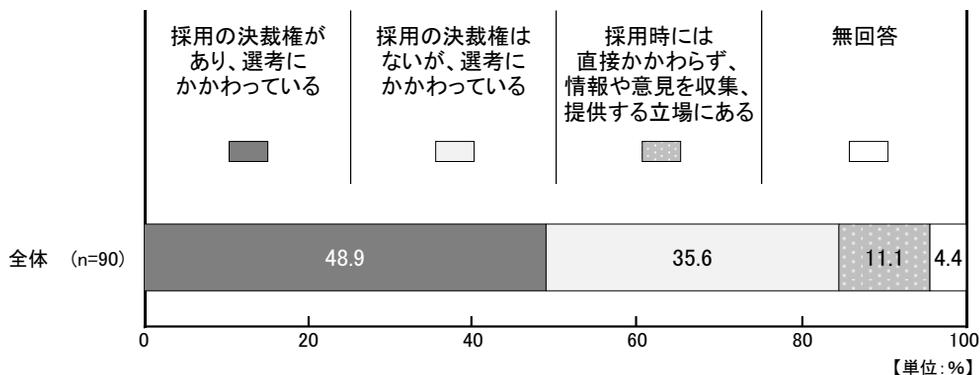
## 企業対象 調査結果



# 回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

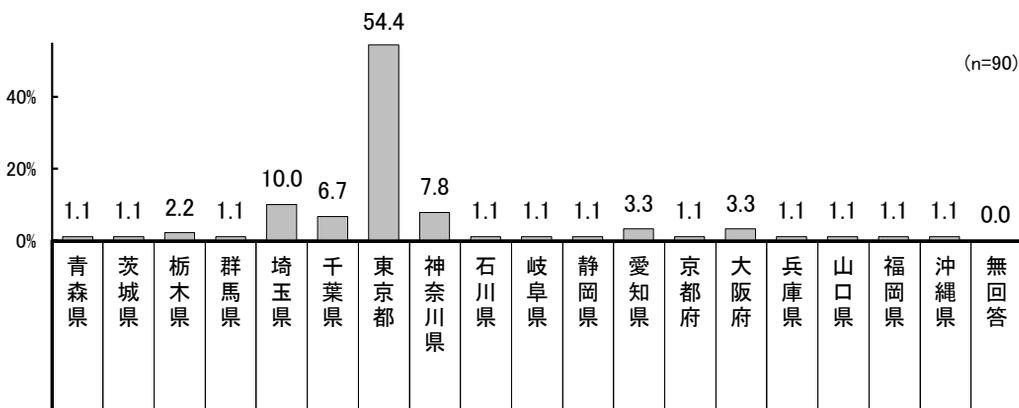
## ■人事採用への関与度

Q1. アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■本社所在地

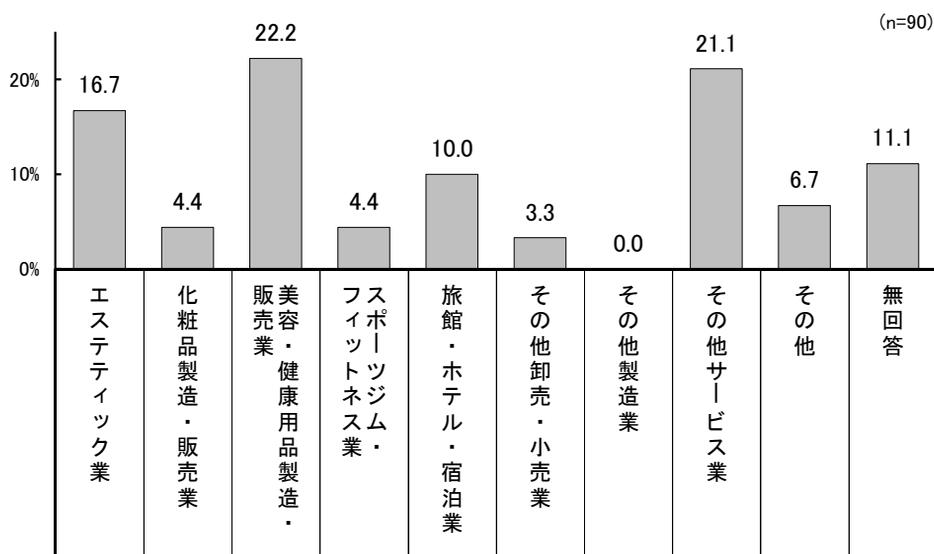
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



# 回答企業(回答者)の属性(業種/従業員数)

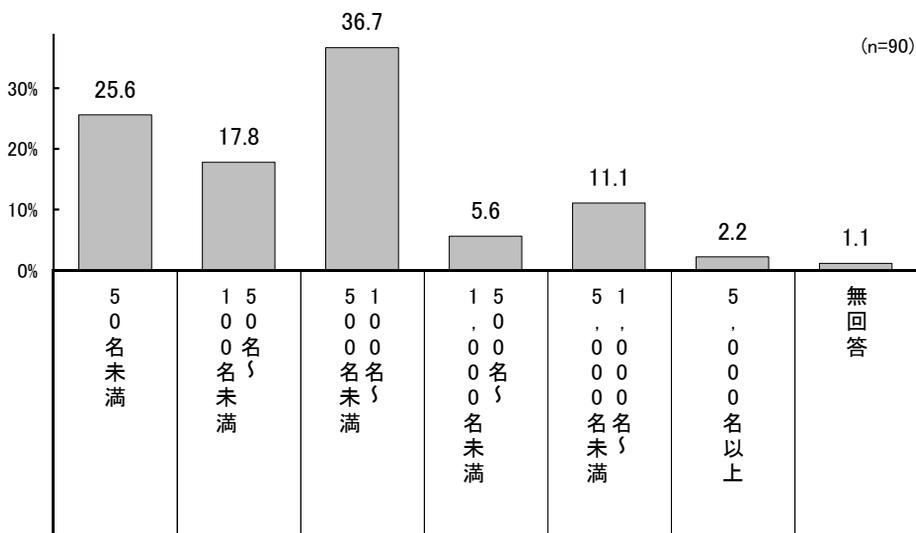
## ■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



## ■従業員数

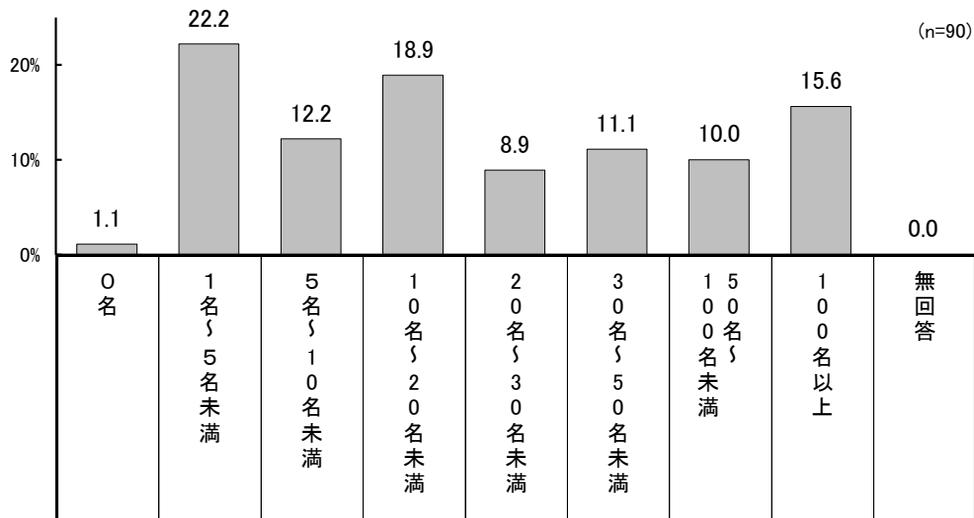
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



# 正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

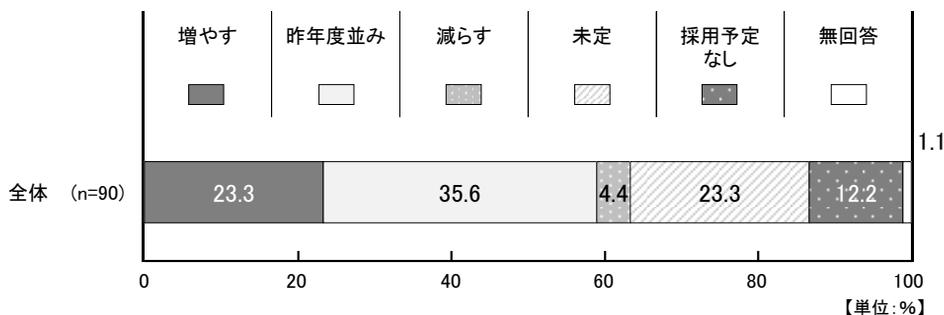
## ■ 正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■ 本年度の採用予定数

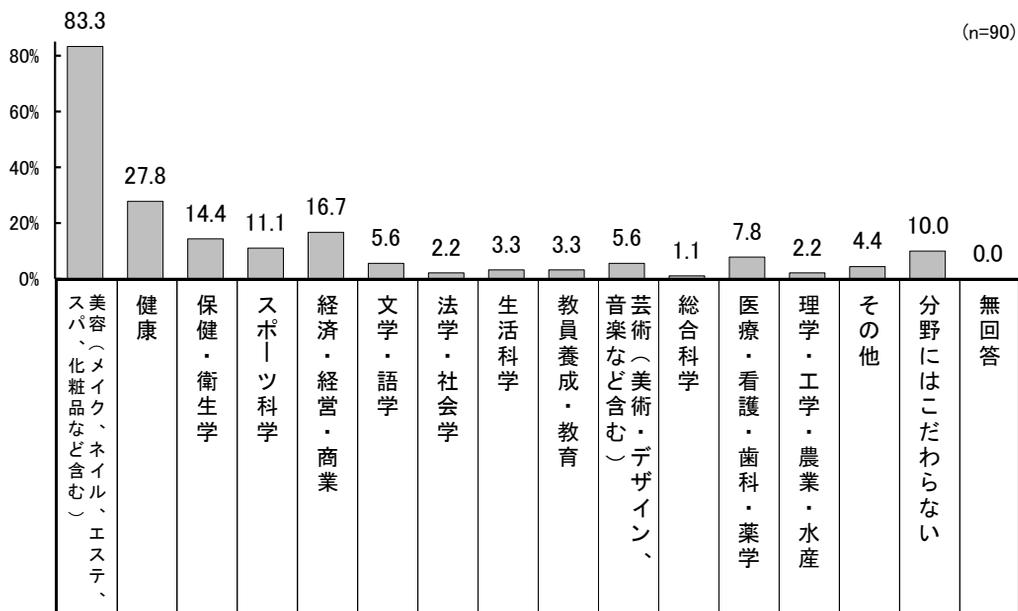
Q6. 貴社・貴団体の本年度における新規大卒者の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



# 採用したい学問分野

## ■採用したい学問分野

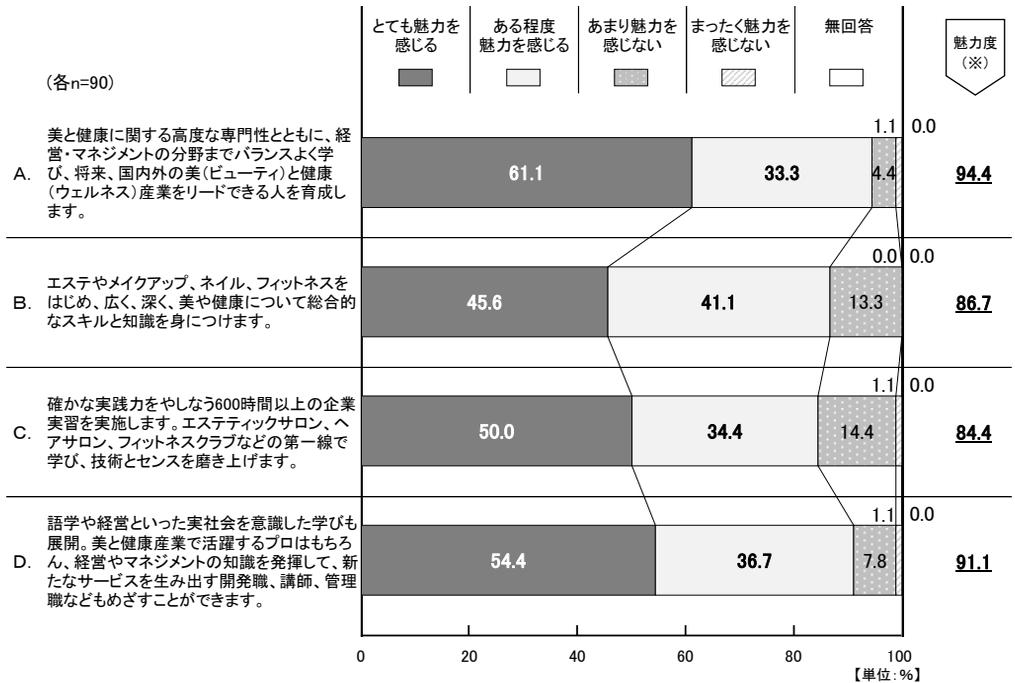
Q7. 貴社・貴団体では、どのような分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)



# ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度

## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の特色に対する魅力度

Q8.「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」(すべて仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



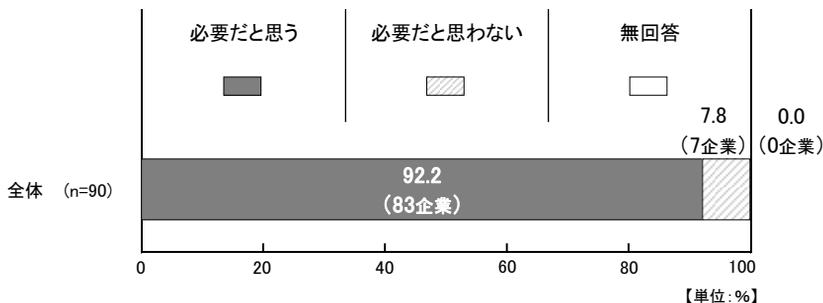
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

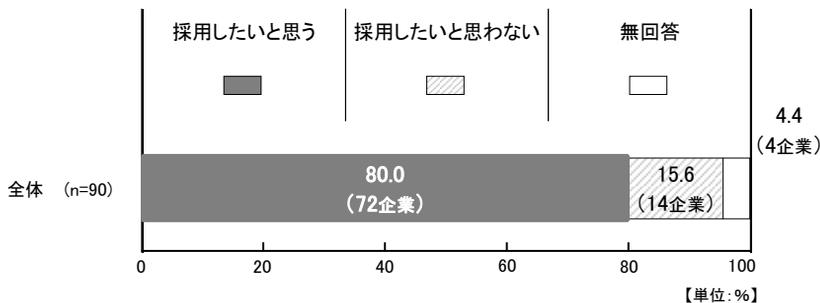
## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体では、「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思えますか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた72企業のみ抽出

## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「ビューティ&ウェルネス専門職大学」の「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをお選びください。(あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名	10名	20名	30名	40名	50名以上	計	
		%	企業数	名	%	企業数	名	%	企業数	名	%		企業数
72	%	30.6%	5.6%	27.8%	2.8%	20.8%	1.4%	2.8%	1.4%	0.0%	1.4%	⇒	
	企業数	22	4	20	2	15	1	2	1	0	1		68
	名	22	8	60	8	105	14.5	49	34.5	0	50		351

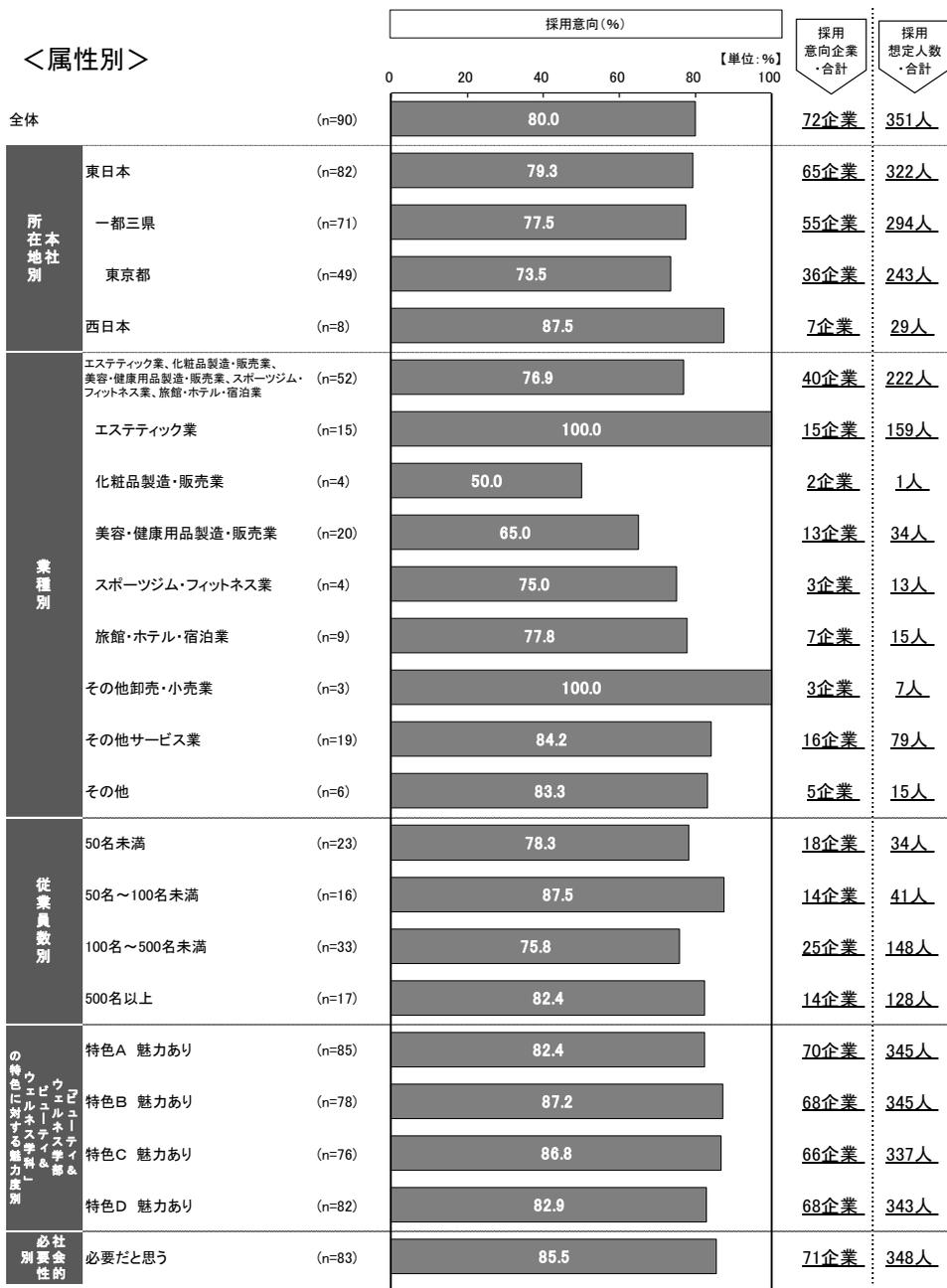
※毎年の採用想定人数・計 各項目の代入値を各範囲の平均にて算出。

「5名～9名」=7名、「10名～19名」=14.5名、「20名～29名」=24.5名、「30名～39名」=34.5名、「40名～49名」=44.5名、「50名以上」=50名 とそれぞれ代入し合計値を算出

# ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

## ■ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

※ビューティ&ウェルネス専門職大学「ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



※採用想定人数・合計 各項目の代入値を各範囲の平均にて算出。

「5名～9名」=7名、「10名～19名」=14.5名、「20名～29名」=24.5名、「30名～39名」=34.5名、「40名～49名」=44.5名、「50名以上」=50名 とそれぞれ代入し合計値を算出

## 卷末資料 調查票

## 「ビューティ&ウェルネス専門職大学」 (仮称、設置構想中)に関するアンケート

学校法人ミスバリ学園では、美と健康を学べる日本初の専門職大学「ビューティ&ウェルネス専門職大学」(仮称、以下「本学」という。)を開設することを計画しています。本学では、社会からの関心が高まっている美と健康産業において、新たなサービスを開拓できる次世代のリーダーを育成する学びを展開します。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、本学の学部・学科をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている本学に関する事項はすべて予定であり、内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |                   |               |        |
|-------------------|---------------|--------|
| 1. エステティック業       | 5. 旅館・ホテル・宿泊業 | 9. その他 |
| 2. 化粧品製造・販売業      | 6. その他卸売・小売業  |        |
| 3. 美容・健康用品製造・販売業  | 7. その他製造業     |        |
| 4. スポーツジム・フィットネス業 | 8. その他サービス業   |        |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |               |                  |                    |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満      | 3. 100名～500名未満   | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上        |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- |             |              |               |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名       | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満  | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上     |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 |               |

Q6. 貴社・貴団体の本年度における新規大卒者の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。

(あてはまる番号1つに○)

- |          |        |           |
|----------|--------|-----------|
| 1. 増やす   | 3. 減らす | 5. 採用予定なし |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定  |           |

裏面へ続く→

